区分	臨床・基礎分野	授業科目名	倫理学		単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・後期・通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	今村　文章	実務経験	(有)無	実務経験内容	三菱鉱業端島鉱病院検査部に5年、健康保険諌早総合病院に34年（計39年勤務）。その間、日本臨床検査技師会理事、常務理事、副会長等を務め、各種医療団体や学界の役員等を務め見識を積んだ。	

授業の目的・目標
コンプライアンスを含めた医療における倫理観の醸成。

成績評価の方法
出席、グループ討議などの態度を考慮し、最終的には筆記試験で評価する。

授業の概要・授業方針
スライドによる解説を交え、各論のテーマに従い、身近な具体例についてグループによるディスカッションを多めにし、発表形式も取り入れる。

テキスト・参考資料等
1）医学書院発刊（ケースブック医療倫理）
2）教育出版株式会社（テーマで読み解く生命倫理）2016

授業計画	講師
第　1講　　序：人文科学とは・倫理とは、倫理に関する歴史	今村　文章
第　2講　　西洋の医の倫理　ヒポクラテス～フーフェランド	今村　文章
第　3講　　日本の医療倫理　緒方洪庵、扶氏医戒	今村　文章
第　4講　　ジュネーブ宣言・ヘルシンキ宣言など	今村　文章
第　5講　　バイオエシックス、生命倫理など	今村　文章
第　6講　　個人情報保護法について	今村　文章
第　7講　　各種ハラスメントについて	今村　文章
第　8講　　医療現場における想定問題	今村　文章
第　9講　　医療現場における想定問題（ロールプレイによる体験）	今村　文章
第10講　　予備	今村　文章

区分	臨床・基礎分野	授業科目名	数学（計算学）	単位数	1
対象学年	1年	開講時期	(前期) 後期 ・ 通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	古田　智春	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検体検査全般、微生物検査、輸血検査、採血業務

授業の目的・目標	成績評価の方法
国家試験や仕事で求められる計算能力の習得	定期試験にて評価
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
グループ学習により助け合う心を育む グループ発表により表現力を養う	基礎トレーニングドリル/化学同仁

授業計画	講師
1. 数を表す語句（倍数接頭辞）	古田　智春
2. 単位と、単位に付随する接頭辞	古田　智春
3. 有効数字	古田　智春
4. 四則計算	古田　智春
5. 分数の計算	古田　智春
6. 比例計算	古田　智春
7. 指数計算	古田　智春
8. 対数計算	古田　智春
9.　パーセント（%）の計算	古田　智春
10. 臨床検査で用いる計算	古田　智春

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	微生物学	単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	横溝　勝	実務経験	(有)無	実務経験内容	国立長崎長崎中央病院　1年6カ月 国立嬉野病院　9年 国立小倉病院　2年 微生物検査に従事

授業の目的・目標

微生物の形態、生理と機能など基礎的な分野を学び理解する。
微生物と環境・人との関りを学んでいく。

成績評価の方法

定期試験・出席点

授業の概要・授業方針

教科書を中心にミニテストを交えながらすすめていく。

テキスト・参考資料等

最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学（医歯薬出版）

授業計画	講師
第1回　微生物とは　微生物の歴史・分類	横溝　勝
第2回　細菌の形態と構造	横溝　勝
第3回　細菌の観察法と染色法	横溝　勝
第4回　細菌の代謝と発育	横溝　勝
第5回　細菌の発育と培養	横溝　勝
第6回　細菌の培養法	横溝　勝
第7回　細菌の同定	横溝　勝
第8回　遺伝・変異と遺伝子診断	横溝　勝
第9回　滅菌および消毒	横溝　勝
第10回　化学療法	横溝　勝
第11回　化学療法とワクチン	横溝　勝
第12回　正常細菌叢とその変動	横溝　勝
第13回　病原性と抵抗力	横溝　勝
第14回　バイソセーフティ・医療関連感染	横溝　勝
第15回　細菌検査の精度管理・感染症関連法規	横溝　勝

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	情報科学	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	船津 由季子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	情報処理の授業、検定・国試対策などを受け持った経験あり

授業の目的・目標

・情報活用試験3級合格
・情報処理の基礎能力をつける
・国家試験対策を兼ねる

成績評価の方法

定期試験評価
課題提出

授業の概要・授業方針

テキストを使用し、一般的な情報処理の解説を行なう。
また、プリントなどを使用し、ポイント説明を行なう。

テキスト・参考資料等

情報活用試験3級テキスト
およびプリント、過去問題　など

授業計画	講師
＊科目説明、目標、対策	船津　由季子
＊メールアドレス取得	船津　由季子
第1章　パソコンの基礎	船津　由季子
第2章　ネットワーク	船津　由季子
第3章　アプリケーションソフトの利用	船津　由季子
第4章　情報社会とコンピュータ	船津　由季子

区分	臨床・専門分野	授業科目名	一般検査学	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・後期・通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	坂口　みどり	実務経験	(有)無	実務経験内容	検査センター勤務後、学校職員

授業の目的・目標	成績評価の方法
基本的な手技と検体の取り扱い方	期末試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
板書を中心に国家試験問題にも取り組む。 受身にならないようディスカッションも取り入れ、興味を持てる授業展開としたい。	医歯薬出版　最新　臨床検査学講座「一般検査学」

授業計画	講師
第 1回　オリエンテーション＋尿の生成について	坂口　みどり
第 2回　尿基礎知識（生成、採尿時間・方法による分類）	坂口　みどり
第 3回　尿色調・赤色尿の鑑別①	坂口　みどり
第 4回　尿色調・赤色尿の鑑別②	坂口　みどり
第 5回　尿色調（小テスト）・解説①	坂口　みどり
第 6回　混濁尿（小テスト）・解説②、尿蛋白基礎知識	坂口　みどり
第 7回　尿pH・浸透圧（小テスト）・解説①	坂口　みどり
第 8回　尿pH・浸透圧（小テスト）・解説②、臭気	坂口　みどり
第 9回　分光光度計の原理について	坂口　みどり
第10回　尿糖について	坂口　みどり
第11回　糖尿病について	坂口　みどり
第12回　尿蛋白（小テスト）・解説①	坂口　みどり
第13回　尿蛋白（小テスト）・解説②、尿ケトン体	坂口　みどり
第14回　尿糖・ケトン体（小テスト）・解説①	坂口　みどり
第15回　尿糖・ケトン体（小テスト）・解説②	坂口　みどり

区分	臨床・専門分野	授業科目名	一般検査学実習	単位数	2
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	坂口　みどり	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検査センター勤務後、学校職員

授業の目的・目標	成績評価の方法
基本的な実習技術の習得と検体の取り扱い方	期末試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
基本的な手技について学ぶ。技術を身に付けることを第1目標とし、楽しみながら取組むように促す。受身にならないようディスカッションも取り入れ、興味を持てる授業展開としたい。	医歯薬出版　最新　臨床検査学講座「一般検査学」

授業計画	講師
第 1回　基本的な器具の操作について	坂口　みどり
第 2回　基本的な器具の操作について	坂口　みどり
第 3回　混濁尿の鑑別［自己尿にて実施］	坂口　みどり
第 4回　尿pH［試験紙法の原理について実習］	坂口　みどり
第 5回　尿比重［浮秤法、屈折計法、試験紙法の原理について実習］	坂口　みどり
第 6回　尿蛋白定性検査法［煮沸法、パーディー法］	坂口　みどり
第 7回　尿蛋白定性検査法［スルホサリチル酸法、ヘレル法、ロバート変法］	坂口　みどり
第 8回　尿蛋白定性検査法［試験紙法の原理について実験］	坂口　みどり
第 9回　尿蛋白定量検査法［KC法、マイクロTP（ピロガロールレッド）法］	坂口　みどり
第10回　尿糖定性検査法［ベネディクト法、ニーランデル法］	坂口　みどり
第11回　尿糖定性検査法［試験紙法の原理について実習］	坂口　みどり
第12回　尿糖定性検査法［ソモジー法］	坂口　みどり
第13回　尿ケトン体検査法［ランゲ法、ロテラー・吉川変法、レガール法、試験紙法］	坂口　みどり
第14回　尿ビリルビン定性検査法［ロザン法、ハリソン法、ワトソン・ホーキンソン法、イクトテスト］	坂口　みどり
第15回　尿ウロビリン体検査法 ［（ウロビリノゲン＝ワーレスダイヤモンド法）、ウロビリン体＝シュレージンガー法（自己尿にて実施）］	坂口　みどり

区分	臨床・専門分野	授業科目名	検査機器総論	単位数	1単位
対象学年	1年次	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義・実習)
担当教員名	諸隈　博	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検体検査から生理検査までの全体的な経験があり、化学容量器、天びん、顕微鏡装置等の基礎的な原理を理解し、操作方法等の経験を有する。

授業の目的・目標

①検査に必要な機器や装置に関する基礎的な知識の習得を目的とする。 ②実際に機器や装置に触れることで原理や構造の理解を深め、保守管理を含めた正しい取扱いを習得する。

成績評価の方法

出欠状況・定期試験

授業の概要・授業方針

①検査機器の原理および取扱いについて基礎的な講義を行い、日をあらためて実習を行なう。 ②また、国家試験を意識した内容・テストもも織り交ぜる。

テキスト・参考資料等

・最新臨床検査学講座　検査機器総論/医歯薬出版
・講師作成資料　　など

授業計画	講師
第1回　第1章　検査機器学総説　　第2章共通機械器具の原理・構造　A. 化学容量器	諸隈　博
第2回　B. 秤量装置　　C. 遠心分離装置	諸隈　博
第3回　実習 （天びん、遠心分離装置）	諸隈　博
第4回　D. 分離分析装置	諸隈　博
第5回　E. 攪拌装置　　F. 恒温装置　　G. 保冷装置　　H. 滅菌装置	諸隈　博
第6回　実習（撹拌装置～滅菌装置）	諸隈　博
第7回　I.測光測定装置	諸隈　博
第8回　J. 顕微鏡装置　1）	諸隈　博
第9回　J. 顕微鏡装置　2）	諸隈　博
第10回　実習 （顕微鏡装置）	諸隈　博
第11回　K. 電気化学装置　L. 純水製造装置　　M.遺伝子検査機器	諸隈　博
第12回　実習 （電気化学装置、純水製造装置）	諸隈　博

区分	臨床・専門分野	授業科目名	情報処理技術実習		単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年		講義形態	講義・(実習)
担当教員名	船津 由季子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	Excel・Word基本・応用操作の授業、検定対策などを受け持った経験あり	

授業の目的・目標	成績評価の方法
Excel・Wordの基本操作を習得する	定期試験評価 課題提出
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
テキストを使用し、操作解説を行う	実教出版 30時間アカデミック　Word＆Excel2019

授業計画		講師
2-8　表の作成	データ入力、修正・削除、行の高さ・列の幅、セル、など	船津由季子
2-9　表の編集	データ入力、行・列操作、貼り付け、絶対参照など	船津由季子
2-10　関数①	連続データの入力、カウント・条件処理など	船津由季子
2-11　関数②	文字列処理（一部取り出し、結合）	船津由季子
2-12　関数③	文字列処理（小文字変換、結合）	船津由季子
2-13グラフの管理	グラフ作成、グラフシート、グラフ変更、行列切り替え、要素追加など	船津由季子
2-14　テーブルの利用	テーブル作成・変更、フィルター・並べ替えなど	船津由季子
2-15　ブック内の移動と表示のカスタマイズ	名前付き範囲、ブック内要素移動、表示のカスタマイズなど	船津由季子
2-16　共同作業のための設定	印刷設定、アクセシビリティ、コメント挿入など	船津由季子
2-17　インポートとデータの視覚化	テキストファイル・csvファイルインポート、条件付き書式など	船津由季子 船津由季子
2-18　ピボットテーブル	ピボットテーブル作成、値フィールドの設定、データ更新など	船津由季子
2-19　別表の参照とエラー回避	別表よりデータ取り出し、エラー対処など	船津由季子
演習問題・プリント	学生のスキル、残時間に応じて実施	船津由季子
付録　文字の入力		船津　由季子
1-1　文字、段落、表	文字や段落の書式設定、表作成など	船津　由季子
1-2　表とリスト	スタイル、表加工、リスト作成など	船津　由季子
1-3　グラフィック要素	ワードアート、書式コピー・貼り付け、SmartArt、図の挿入など	船津　由季子
1-4　他のデータの利用	Word文書にExcelの表・グラフの貼り付けなど	船津　由季子
1-5　文書の書式・レイアウト	ページ設定、スタイルセット、段組み、テキストボックスなど	船津　由季子
1-6　長文作成と参考資料	表紙挿入、プロパティ、ヘッダー・フッター、脚注など	船津　由季子
1-7　文書の校閲と共有	変更履歴の表示、コメント、印刷の設定など	船津　由季子

区分	臨床・その他	授業科目名	就職対策	単位数	
対象学年	1年生	開講時期	(前期)・後期・通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	西村　史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	大学、専門学校での経理、教務事務経験あり。

授業の目的・目標	成績評価の方法
・臨床検査技師の仕事についての理解を深め、自分の将来像を描くきっかけとする。 ・働く意義について考え、職業観を養う。	
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
・グループに分かれてテーマを決め、「臨床検査技師」の仕事についての研究や内勤講師インタビューを行い、その成果を発表する。	適宜プリント配布

授業計画	講師
第 1 回　オリエンテーション・職業研究	西村　史
第 2 回　職業研究	西村　史
第 3 回　内勤講師インタビュー	西村　史
第 4 回　内勤講師インタビュー・職業研究発表会	西村　史

区分	臨床・基礎分野	授業科目名	社会学		単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年		講義形態	(講義) ・ 実習
担当教員名	松田 一之	実務経験	(有) 無	実務経験内容	1982年～2015年　長崎みなとメディカルセンターにて病理検査、免疫・輸血検査、微生物検査、一般検査および生理検査全般を担当。その後、2015年～2021年　長崎みなとメディカルセンター　医事課長、事務部長を歴任。	

授業の目的・目標
社会人、特に医療人になるにあたっての医療の歴史、医療制度、医療提供体制について学習する。また、医の倫理と患者の心理を学び、医療従事者としての心構えを身につける。

成績評価の方法
出席状況、レポートの提出、期末試験等による。

授業の概要・授業方針
教科書に準拠した授業に加えて、グループ学習形式で長崎県の医療計画・医療提供体制について修得し、プレゼンテーションを行う。また、公衆衛生学の教科書を用いて成人・高齢者の保健についての知識を深める。

テキスト・参考資料等
最新臨床検査学講座　保健医療福祉概論　第1版（医歯薬出版）、公衆衛生学

授業計画	講師
第1回　医療の歴史と医療制度の歴史	松田　一之
第2回　病院の各部門の役割	松田　一之
第3回　医療制度（通常の医療）	松田　一之
第4回　医療制度（重点対策がとられている医療）　、公衆衛生学の成人保険、精神保健を参照	松田　一之
第5回　医療提供体制（医療施設）	松田　一之
第6回　長崎県の医療政策についてグループ学習	松田　一之
第7回　グループによるプレゼンテーション（救急医療、がん、急性心筋梗塞、脳卒中）	松田　一之
第8回　グループによるプレゼンテーション（へき地医療、糖尿病、小児・周産期医療、精神疾患）	松田　一之
第9回　医療提供体制（医療保険の種類、診療報酬支払制度）	松田　一之
第10回　諸外国の医療制度、患者の心理、医の倫理と医療従事者の心構え、まとめ	松田　一之

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	病理学		単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	藤田　修一	実務経験	(有)・無	実務経験内容	長崎大学熱帯医学研究所で病理解剖を行っていた。現在、長崎大学病院で、病理組織診断・細胞診業務に携わっている。	

授業の目的・目標

病理学は「病気」の解明に科学的に取り組む学問である。この科目は病理学総論の授業を行う。疾病の原因・発生機構・病態・予後を包括的に理解することを目的とする。

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

病理学総論として、臓器ごとの疾患ではなく、共通する基本的な病態ごとに、その病理学的変化を学ぶ。これらの基本的変化は2年次の「病理検査学」の病理学各論にもつながるので、しっかり学習すること。授業では、各種病変の肉眼像・顕微鏡像（組織像）も提示しながら進める。

テキスト・参考資料等

教科書：　中村仁志夫、佐藤達資、石津明洋、田中伸哉
医療系学生のための病理学 第4版　講談社
参考書：　松原修 他 臨床検査学講座「病理学／病理検査学」 医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　病理学概説、病因論	藤田修一
第2回　先天性疾患、遺伝病	藤田修一
第3回　細胞・組織障害 (1)	藤田修一
第4回　細胞・組織障害 (2)	藤田修一
第5回　物質代謝障害	藤田修一
第6回　修復と再生	藤田修一
第7回　循環障害 (1)	藤田修一
第8回　循環障害 (2)	藤田修一
第9回　循環障害 (3)	藤田修一
第10回　炎症 (1)	藤田修一
第11回　炎症 (2)	藤田修一
第12回　免疫と免疫異常 (1)	藤田修一
第13回　免疫と免疫異常 (2)	藤田修一
第14回　腫瘍 (1)	藤田修一
第15回　腫瘍 (2)	藤田修一

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	血液学	単位数	1
対象学年	1年次生	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	古本　嵩文	実務経験	(有) 無	実務経験内容	一般内科学・血液内科学の実務経験あり

授業の目的・目標	成績評価の方法
血液疾患の病態を理解するための基礎知識の習得	期末試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
血液検査の概要と日常診療におけるその重要性を 理解する	臨床検査学講座「血液検査学」

授業計画	講師
第1回 血液学の概要	古本　嵩文
第2回 赤血球(1)	古本　嵩文
第3回 赤血球(2)	古本　嵩文
第4回 白血球(1)	古本　嵩文
第5回 白血球(2)	古本　嵩文
第6回 まとめと演習(1)	古本　嵩文
第7回 血小板・止血・凝固・線溶(1)	古本　嵩文
第8回 血小板・止血・凝固・線溶(2)	古本　嵩文
第9回 血小板・止血・凝固・線溶(3)	古本　嵩文
第10回 血小板・止血・凝固・線溶(4)	古本　嵩文
第11回 まとめと演習(2)	古本　嵩文
第12回 血液疾患に関する検査(1)	古本　嵩文
第13回 血液疾患に関する検査(2)	古本　嵩文
第14回 血液疾患に関する検査(3)	古本　嵩文
第15回 後期試験前のまとめと演習	古本　嵩文

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	免疫学	単位数	1
対象学年	1年	開講時期	前期・(後期)・通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	古田　智春	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検体検査全般、微生物検査、輸血検査、採血業務

授業の目的・目標	成績評価の方法
国家試験で求められる知識の習得	定期試験にて評価
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
1. 反復演習により知識を定着させる 2. 国家試験問題で応用力を身につける	最新臨床検査学講座　免疫検査学 / 医歯薬出版株式会社

授業計画	講師
1.　免疫系のしくみ	古田　智春
2.　自然免疫	古田　智春
3.　獲得免疫系への抗原提示	古田　智春
4.　獲得免疫における抗原の認識	古田　智春
5.　獲得免疫におけるT細胞の活性化機構と役割	古田　智春
6.　獲得免疫における抗体の産生機構と役割	古田　智春
7.　補体系の役割	古田　智春
8.　能動免疫と受動免疫	古田　智春
9.　自己寛容	古田　智春
10. 感染症(1)	古田　智春
11. 感染症(2)	古田　智春
12. 腫瘍性疾患	古田　智春
13. アレルギー	古田　智春
14. 自己免疫疾患	古田　智春
15. 免疫不全症	古田　智春

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	医療福祉概論	単位数	1
対象学年	1年次生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	橋口　博之	実務経験	(有)・無	実務経験内容	特別養護老人ホーム：主任生活指導員　児童福祉施設：児童指導員及び主任児童指導員　地域包括支援センター：社会福祉士　居宅介護支援事業所：介護支援専門員及び管理者　県介護サービス情報の公表調査員等

授業の目的・目標

どのような状況下であろうと、自分の人生を自分で決め、誇りをもって生きることは、誰もが望むことである。必要な福祉制度の知識を習得し、医療サービスの提供者として、又、地域住民として果たすべき役割を考える。

成績評価の方法

試験答案、講義中の質疑応答及び小テスト・小レポート（感想や質問）の提出等により、理解度や知識を深めたいという意欲を評価したい。

授業の概要・授業方針

社会福祉の歴史・思想を含む概要、医療サービスと協働して支援にあたるおおよその社会福祉の制度・サービス等を学ぶ。憲法に保障された、生存権・幸福追求権等の人権がどのように保障され、又、どうすれば守られるかを医療サービスの提供者として考える機会としたい。

テキスト・参考資料等

プリント及び医療福祉総合ガイドブック2023年度版

授業計画	講師
第 1回 「社会福祉とは何か」 ・人権としての社会福祉　憲法第25条　社会福祉のとらえ方及びシラバスに関して等	橋口　博之
第 2回　児童福祉 ・児童福祉法　児童育成の理念　児童育成の責任　相談機関　施設等	橋口　博之
第 3回　高齢者福祉（1） ・高齢者　高齢化率　高齢化社会と高齢社会　日本の現況と今後の課題等	橋口　博之
第 4回　高齢者福祉（2） ・介護保険の大まかな仕組み　代表的なサービス等	橋口　博之
第 5回　障がい者福祉（1） ・障がいのとらえ方とその変遷　ADL／QOL　ICIDH／ICF等	橋口　博之
第 6回　障がい者福祉（2） ・小テストの解説及び前回講義補足とまとめ　ノーマライゼーション　障害のある人への支援及び相談機関等	橋口　博之
第 7回　社会保障制度（1） ・社会保障とは　憲法第25条「生存権」 社会保険　公的年金：国民年金(基礎年金）等	橋口　博之
第 8回　社会保障制度（2） ・公的扶助とは　生活保護法	橋口　博之
第 9回　権利擁護 ・憲法第13条　人権　個人の尊重　幸福追求権　虐待及び防止法　日常生活を営む上で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る仕組み等	橋口　博之
第10回　事例検討 ・グループワークを通して、対象者の抱える生活問題を見出し、その対応策を探る。自由に自らの意見を述べ、グループメンバーとしての役割を担い、授業で習得した介護保険・福祉サービス等を再確認する。尚、状況によっては、通常の対面授業とする。	橋口　博之

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	情報科学実習	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期・(後期)・通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	船津 由季子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	情報処理の授業、検定・国試対策などを受け持った経験あり

授業の目的・目標

・情報活用試験3級合格
・情報処理の基礎能力をつける
・国家試験対策を兼ねる

成績評価の方法

定期試験評価
課題提出

授業の概要・授業方針

テキストを使用し、一般的な情報処理の解説を行なう。
また、検定対策のための、ポイント説明などを行なう。

テキスト・参考資料等

情報活用試験3級テキスト
およびプリント、過去問題　など

授業計画	講師
第5章　情報モラル	船津　由季子
＊試験対策・過去問・模擬試験等	船津　由季子
＊国家試験問題	船津　由季子

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床医学総論	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義 ・ 実習
担当教員名	秀島　克巳	実務経験	有・無	実務経験内容	病理検査学の全体的な経験があり、基礎的な組織学・病理学を理解し、臓器の固定、包埋、薄切、染色等の実践的な経験を有する。

授業の目的・目標

①疾患の成因、病態像、特徴的症状について学び、疾患に関する総合的知識を深める。
②各疾患における臨床検査の意義を理解する。

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

テキストに沿って、各章ごとに捕捉説明を加えながら講義を進める。
授業ごとに振り返りを行うことで理解を深める。

テキスト・参考資料等

臨床検査学講座
臨床医学総論／臨床検査学総論（医歯薬出版）

授業計画	講師
1. 医学総論、循環器疾患	秀島　克巳
2、呼吸器疾患、	秀島　克巳
3、消化器疾患、肝・胆・膵疾患、	秀島　克巳
4、感染症	秀島　克巳
5、血液・造血器疾患、1年生前期後期の振り返り	秀島　克巳

区分	臨床・専門分野	授業科目名	医動物学実習	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	坂口　みどり	実務経験	(有) 無	実務経験内容	検査センター勤務後、学校職員

授業の目的・目標	成績評価の方法
基本的な手技と検体の取り扱い方・顕微鏡操作	期末試験
授業の概要・授業方針 基本的な寄生虫検出法について学ぶ。未熟な顕微鏡操作についても繰り返し行うことで、2年次の実習へのスムーズな移行を促したい。受身にならないようディスカッションも取り入れ、興味を持てる授業展開としたい。	**テキスト・参考資料等** 医歯薬出版　最新　臨床検査学講座「医動物学」

授業計画	講師
第　1回　鏡検（各種花粉の観察）	坂口　みどり
第　2回　虫卵検出法（カバーガラス直接薄層塗抹法）鏡検（標本観察・スケッチ）	坂口　みどり
第　3回　虫卵検出法（セロファン厚層塗抹法）鏡検（標本観察・スケッチ）	坂口　みどり
第　4回　虫卵検出法（飽和食塩浮遊法）鏡検（標本観察・スケッチ）	坂口　みどり
第　5回　虫卵検出法（硫酸Mg食塩水浮遊法MGL法　ホルマリン・エーテル遠心沈殿法） ・鏡検（標本観察・スケッチ）	坂口　みどり
第　6回　虫卵検出法（AMSⅢ法）鏡検（標本観察・スケッチ）	坂口　みどり
第　7回　鏡検（各種標本観察・スケッチ）	坂口　みどり
第　8回　鯖よりアニサキスの採取・鏡検（標本観察）	坂口　みどり

区分	臨床・専門分野	授業科目名	化学分析検査学	単位数	1単位
対象学年	1年次	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	加藤　晶子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	病院勤務にて輸血検査・病理検査を担当。

授業の目的・目標

検査に必要な知識、分析法に関する基礎知識の習得を目的とする。

成績評価の方法

出席状況・定期試験

授業の概要・授業方針

検査の基礎知識、分析法の種類、基礎、計算の説明。小テスト

テキスト・参考資料等

臨床化学検査学/医歯薬出版
ポケットマスター臨床検査知識の整理　臨床化学/医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　総論①生化学検査とは	加藤　晶子
第2回　総論②測定値の管理と基準範囲	加藤　晶子
第3回　総論③生理的変動と測定技術変動	加藤　晶子
第4回　分析法の基礎①分光光度分析法	加藤　晶子
第5回　分析法の基礎②クロマトグラフィ	加藤　晶子
第6回　分析法の基礎③電気泳動法	加藤　晶子
第7回　分析法の基礎④免疫化学的定量分析法	加藤　晶子
第8回　分析法の基礎⑤電気化学分析法	加藤　晶子
第9回　分析法の基礎⑥酵素的分析法	加藤　晶子
第10回　分析法の基礎⑦自動分析法	加藤　晶子
第11回　電解質と微量元素①	加藤　晶子
第12回　電解質と微量元素②	加藤　晶子
第13回　糖質①	加藤　晶子
第14回　糖質②	加藤　晶子
第15回　まとめ	加藤　晶子

区分	臨床・専門分野	授業科目名	一般検査学実習	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	坂口　みどり	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検査センター勤務後、学校職員

授業の目的・目標	成績評価の方法
基本的な実習技術の習得と検体の取り扱い方	期末試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
基本的な手技について学ぶ。技術を身に付けることを第1目標とし、楽しみながら取組むように促す。受身にならないようディスカッションも取り入れ、興味を持てる授業展開としたい。	医歯薬出版　最新　臨床検査学講座「一般検査学」

授業計画	講師
第 1回　髄液検査（白血球分離）［髄液細胞数算定実習用］	坂口　みどり
第 2回　髄液細胞数算定、髄液［グロブリン反応（ノンネ、パンディ）、タンパク定量（マイクロTPテスト）］	坂口　みどり
第 3回　髄液細胞数算定、髄液［トリプトファン、糖定量］	坂口　みどり
第 4回　便潜血反応［人工便による酸化法、免疫法］	坂口　みどり
第 5回　胃液酸度測定、中和滴定の仕方	坂口　みどり
第 6回　尿沈渣（基本的な操作について）	坂口　みどり
第 7回　尿沈渣（自己尿）	坂口　みどり
第 8回　尿沈渣（異常検体）	坂口　みどり
第 8回　尿蛋白定性検査法［試験紙法の原理について実験］	坂口　みどり

区分	臨床・専門分野	授業科目名	微生物検査学		単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	横溝　勝	実務経験	(有)無	実務経験内容	国立長崎長崎中央病院　1年6カ月 国立嬉野病院　9年 国立小倉病院　2年 微生物検査に従事	

授業の目的・目標	成績評価の方法
微生物について性状・病原性など基礎的な分野を学び理解し、検査法を学んで行く。	定期試験・出席点
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
教科書を中心にミニテストを交えながらすすめていく。	最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学（医歯薬出版）

授業計画	講師
第1回　スタフィロコッカス属	横溝　勝
第2回　スタフィロコッカス属	横溝　勝
第3回　ストレプトコッカス属	横溝　勝
第4回　ストレプトコッカス属	横溝　勝
第5回　エンテロコッカス属	横溝　勝
第6回　ナイセリア科とモラクセラ科	横溝　勝
第7回　ナイセリア科とモラクセラ科	横溝　勝
第8回　球菌属まとめ	横溝　勝

区分	臨床・専門分野	授業科目名	微生物検査学実習	単位数	1単位
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	横溝　勝	実務経験	(有) 無	実務経験内容	国立長崎長崎中央病院　1年6カ月 国立嬉野病院　9年 国立小倉病院　2年 微生物検査に従事

授業の目的・目標

微生物検査の基本操作、また微意生物についての性状・病原性を学び、その感染力や危険性を充分理解したうえで、検査法や手技を取得していく。

成績評価の方法

定期試験・出席点・実習態度

授業の概要・授業方針

教科書・プリントを中心に実習を行う。

テキスト・参考資料等

最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学（医歯薬出版）
臨床微生物検査ハンドブック/三輪書店

授業計画	講師
第1回　実習手順・心構えについて／器具の使い方／培地作製	横溝　勝
第2回　グラム染色（染色法・染色作成法・標本作成）・検鏡（顕微鏡の使い方）	横溝　勝
第3回　培地説明・作製（平板培地・斜面培地・確認培地・選択培地等）	横溝　勝
第4回　グラム陽性球菌　スタフィロコックス属の実習説明・培地作製	横溝　勝
第5回　グラム陽性球菌　スタフィロコックス属のグラム染色・培養・同定	横溝　勝
第6回　グラム陽性球菌　ストレプトコックス属の実習説明・培地作製	横溝　勝
第7回　グラム陽性球菌　ストレプトコックス属のグラム染色・培養・同定	横溝　勝
第8回　実習まとめ	横溝　勝

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学 ①	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	30年以上の臨床検査技師としての経験と心電図検査、呼吸機能検査、脳波検査、超音波検査の経験

授業の目的・目標
循環器系検査の基礎
心電図検査の臨床的意義と波形の成り立ちに必要な知識を学ぶ。
心電計の構成と規格、心電図の読み方

成績評価の方法
定期試験
課題提出等

授業の概要・授業方針
スライドと教科書、補足プリントを使用し、講義が中心となる。

テキスト・参考資料等
医歯薬出版/臨床検査学 生理機能検査学
ベクトルコア/心電図ドリル
心電図の読み方 パーフェクトマニュアル

授業計画	講師
第1回 生理機能検査とは 生理検査業務	城 宏史
第2回 循環器検査の基礎 臨床的意義	城 宏史
第3回 心電図検査とは 心電図の発現と波形の成り立ち	城 宏史
第4回 心電図の計測と誘導法	城 宏史
第5回 心電図波形の誘導の意味と電気軸	城 宏史
第6回 正常心電図波形の見方・読み方について	城 宏史
第7回 心電計の性能・構成と規格について	城 宏史
第8回 心電図のまとめ	城 宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学 ①	単位数	1
対象学年	1年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	30年以上の臨床検査技師としての経験と心電図検査、呼吸機能検査、脳波検査、超音波検査の経験

授業の目的・目標
循環器系検査の基礎
心電図検査の波形の成り立ちと心周期について必要な知識を学ぶ。
正常血管と動脈硬化について学ぶ
血管内皮機能検査について学ぶ

成績評価の方法
定期試験

授業の概要・授業方針
スライドと教科書、補足プリントを使用し、講義が中心となる。

テキスト・参考資料等
医歯薬出版/臨床検査学 生理機能検査学
ベクトルコア/心電図ドリル
心電図の読み方 パーフェクトマニュアル

授業計画	講師
第1回 心音図検査の臨床的意義	城 宏史
第2回 心音の成因と性質	城 宏史
第3回 心音計と記録の実際	城 宏史
第4回 動脈硬化検査 ABI検査	城 宏史
第5回 足関節上腕血圧比(ABI)とPWV	城 宏史
第6回 足趾上腕血圧比 TBI PAD SPPについて	城 宏史
第7回 心電図、心音、脈波のまとめ	城 宏史

区分	臨床・基礎分野	授業科目名	法学		単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	城　宏史	実務経験	(有)無	実務経験内容	慈恵病院に10年、健康保険諫早総合病院に22年（計32年臨床検査技師として勤務）。その間、長崎県臨床検査技師会常任理事、事務局長を務め、その中で見識を積んだ。	

授業の目的・目標
憲法・各種法律について歴史となり立ち、更に各種医療従事者に関する関係法規、臨床検査に係る法律等について学び社会人・医療人としての順守などについて講義する。

成績評価の方法
出席状況やレポート提出、最終的には期末試験により評価する。

授業の概要・授業方針
スライドと教科書、補足プリントを使用し、講義が中心となる。

テキスト・参考資料等
医歯薬出版社の関係法規(2023版)を使用

授業計画	講師
第　1講　　第1章　法の概念	城　宏史
第　2講　　第2章　臨床検査技師と法律	城　宏史
第　3講　　第3章　臨床検査技師などに関する法律	城　宏史
第　4講　　第4章　医事法規	城　宏史
第　5講　　第5章　薬事法規	城　宏史
第　6講　　第6章　保健衛生法規	城　宏史
第　7講　　第7章　予防衛生法規	城　宏史
第　8講　　第8章　環境衛生法規	城　宏史
第　9講　　第9章　労働衛生法規	城　宏史
第10講　　第10章　社会保障・福祉関連法規	城　宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床病理学総論	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	南　惣一郎	実務経験	(有)・無	実務経験内容	昭和56年5月26日臨床検査技師免許取得、昭和56年4月1日から現国立大学法人長崎大学病院検査部へ勤務している。この間、臨床化学検査、血液凝固検査、微生物検査、輸血検査、遺伝子検査に従事した。同時に医学部学生ポリクリ指導、研修医指導、薬学部学生実習指導、糖尿病療養士指導、栄養学科学生指導、臨床検査技師臨地実習指導等も行なった。

授業の目的・目標

①疾患の成因、病態像、特徴的症状について学び、疾患に関する総合的知識を深める。
②各疾患の診断・治療・予後判定に必要な臨床検査の知識を習得し、臨床検査の意義と重要性を理解する。

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

テキストに沿って、各章ごとに捕捉説明を加えながら講義を進める。
授業ごとに振り返りを行うことで理解を深める。

テキスト・参考資料等

臨床検査学講座
病態学／臨床検査学総論（医歯薬出版）

授業計画	講師
1. 第6章　感染症　A領域別の感染症	南　惣一郎
2. 第6章　感染症　B病原体別にみた感染症	南　惣一郎
3. 第6章　感染症　C感染症の検査	南　惣一郎
4. 第7章　血液・造血器疾患　その1	南　惣一郎
5.　第7章　血液・造血器疾患　その2	南　惣一郎
6.　第7章　血液・造血器疾患　その3	南　惣一郎
7. 第8章　内分泌疾患　その1	南　惣一郎
8. 第8章　内分泌疾患　その2	南　惣一郎
9. 第8章　内分泌疾患　その3	南　惣一郎
10. 第9章　腎・尿路・男性生殖器疾患　その1	南　惣一郎
11. 第9章　腎・尿路・男性生殖器疾患　その2	南　惣一郎
12. 第10章　女性生殖器疾患	南　惣一郎
13. 第6章～第7章の復習	南　惣一郎
14. 第8章～第10章の復習	南　惣一郎
15. 前期のまとめ	南　惣一郎

区分	臨床・専門分野	授業科目名	病理検査学	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	藤田　修一	実務経験	(有)・無	実務経験内容	長崎大学熱帯医学研究所で病理解剖を行っていた。現在、長崎大学病院で、病理組織診断・細胞診業務に携わっている。

授業の目的・目標

1年生で学んだ病理学の知識をもとに、臓器別の疾患について学ぶ。将来、臨床の現場で遭遇する疾患であるので、確実に理解する。また、臨床検査技師の業務でもある病理組織標本の作製、病理解剖、細胞診についても概説する。

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

第1回から第12回を病理学各論にあて、病理学（総論）の知識に基づいて、臓器別に頻度の高い疾患について講義する。第13回・14回は病理検査における組織標本の作製法と病理解剖、第15回は細胞診について概説する。

テキスト・参考資料等

教科書：　中村仁志夫、佐藤達資、石津明洋、田中伸哉
医療系学生のための病理学 第4版　講談社
参考書：　松原修 他 臨床検査学講座「病理学／病理検査学」 医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　循環器系 (1)	藤田修一
第2回　循環器系 (2)	藤田修一
第3回　呼吸器系	藤田修一
第4回　消化器系 (1)	藤田修一
第5回　消化器系 (2)	藤田修一
第6回　造血器系	藤田修一
第7回　泌尿器系	藤田修一
第8回　生殖器系・乳腺	藤田修一
第9回　運動器および軟部組織系、内分泌系 (1)	藤田修一
第10回　内分泌系 (2)	藤田修一
第11回　脳・神経系 (1)	藤田修一
第12回　脳・神経系 (2)、皮膚・感覚器系	藤田修一
第13回　病理組織学的検査法 (1)	藤田修一
第14回　病理組織学的検査法 (2)	藤田修一
第15回　細胞学的検査法	藤田修一

区分	臨床・専門分野	授業科目名	病理検査学実習		単位数	2単位
対象学年	2年次	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年		講義形態	講義・(実習)
担当教員名	秀島　克巳	実務経験	(有)無	実務経験内容	病理診断用標本作製の全体的な経験があり、基礎的な組織学・病理学を理解し、臓器の固定、包埋、薄切、染色等の経験を有する。	

授業の目的・目標

①病理組織学的検査の目的と実際を理解する。 ②組織染色に必要な正常組織像を理解する。 ③病理組織学的検査のための組織染色の重要性を理解する。 ④技師として必要な薄切、染色、鏡検実習等を通じて臨地実習に必要な基礎技術を養う。 ⑤その他免疫組織化学的染色、術中病理診断、電子顕微鏡、病理解剖、病理検査室の管理においての知識を習得する。

成績評価の方法

出欠状況・定期試験

授業の概要・授業方針

①「病理検査学実習」に必要な基礎的な組織像を講義で理解する。 ②教科書・作成資料を基に講義および病理検査学実習を行う。 ③実習は班単位で行い、お互い教え合えるような学習体制を整える。 ④また、次年度の臨地実習・国家試験を十分に意識した授業を展開する。

テキスト・参考資料等

・最新臨床検査学講座　病理学/病理検査学
・最新染色法のすべて
・講師作成資料　など

授業計画	講師
第1回　病理組織学的検査の意義と概要　病理組織染色に必要な正常組織像①	秀島　克巳
第2回　病理組織染色に必要な正常組織像②	秀島　克巳
第3回　病理組織染色に必要な正常組織像③	秀島　克巳
第4回　鏡検（組織像）	秀島　克巳
第5回　病理組織標本作製の手順（固定～薄切）　凍結切片標本作製①	秀島　克巳
第6回　病理組織標本作製の手順（固定～薄切）　凍結切片標本作製②	秀島　克巳
第7回　実習：薄切①	秀島　克巳
第8回　実習：薄切②	秀島　克巳
第9回　染色前後の操作（脱パラ、脱水・封入）	秀島　克巳
第10回　ヘマトキシリン・エオジン（HE）染色	秀島　克巳
第11回　実習：HE染色①	秀島　克巳
第12回　実習：HE染色②	秀島　克巳
第13回　特殊染色①　結合組織、多糖類	秀島　克巳
第14回　特殊染色②　線維素、組織内無機物、生体内色素	秀島　克巳
第15回　実習：Azan染色、EVG染色①	秀島　克巳
第16回　実習：Azan染色、EVG染色②	秀島　克巳
第17回　実習：鏡検	秀島　克巳
第18回　実習：鏡検	秀島　克巳
第19回　特殊染色③（神経組織、脂肪）	秀島　克巳
第20回　特殊染色④（アミロイド、核酸、組織内病原体、内分泌細胞）	秀島　克巳
第21回　実習：PAS反応、Alcian blue染色①	秀島　克巳
第22回　実習：PAS反応、Alcian blue染色②	秀島　克巳
第23回　実習：Berline　blue染色、Congo red染色①	秀島　克巳
第24回　実習：Berline　blue染色、Congo red染色②	秀島　克巳
第25回　免疫組織化学的染色①	秀島　克巳
第26回　免疫組織化学的染色②	秀島　克巳
第27回　実習：鏡検	秀島　克巳
第28回　実習：鏡検	秀島　克巳
第29回　電子顕微鏡、病理解剖、病理検査室の管理	秀島　克巳
第30回　まとめ	秀島　克巳

区分	臨床・専門分野	授業科目名	血液検査学	単位数	1
対象学年	2年次生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	古本　嵩文	実務経験	(有)無	実務経験内容	一般内科学・血液内科学での実務経験あり

授業の目的・目標	成績評価の方法
血液疾患の病態を理解するための基礎知識の習得	期末試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
血液検査の病態と臨床的特徴を学び、日常診療における血液検査の重要性を理解する。	臨床検査学講座「血液検査学」

授業計画	講師
第1回 赤血球系疾患 総論と各論(1) 小球性貧血	古本　嵩文
第2回 赤血球系疾患 各論(2) 正球性貧血	古本　嵩文
第3回 赤血球系疾患 各論(3) 大急性貧血、赤血球系疾患のまとめ	古本　嵩文
第4回 白血球系疾患　総論	古本　嵩文
第5回 白血球系疾患　各論(1) 骨髄性白血病	古本　嵩文
第6回 白血球系疾患　各論(2) 骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患	古本　嵩文
第7回 白血球系疾患　各論(3) リンパ性白血病、悪性リンパ腫	古本　嵩文
第8回 白血球系疾患　各論(4) 多発性骨髄腫、白血球疾患のまとめ	古本　嵩文
第9回 血小板、凝固系の疾患(1)	古本　嵩文
第10回 血小板、凝固系の疾患(2)	古本　嵩文
第11回 血小板、凝固系の疾患(3)	古本　嵩文
第12回 血小板、凝固系の疾患(4)	古本　嵩文
第13回 血小板、凝固系の疾患(まとめ)	古本　嵩文
第14回 染色体検査と遺伝子検査	古本　嵩文
第15回 前期試験前のまとめと演習	古本　嵩文

区分	臨床・専門分野	授業科目名	血液検査学実習	単位数	2
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義・(実習)

担当教員名	今村　文章	実務経験	(有)・無	実務経験内容	三菱鉱業端島鉱病院検査部に5年、健康保険諌早総合病院に34年（計39年臨床検査技師として勤務）。その間、日臨技血液検査研究班班長などを歴任、平成15年には認定血液検査技師となる。

授業の目的・目標
血球の分化・生成の復習を取り入れながらCBCなど各種実習により、この分野の化学的或いは生物学的反応を習熟すると共に科学的思考力を身につける。

成績評価の方法
出欠状況、授業態度は勿論であるが、質問に対する回答能力も評価したい。最終的には試験での評価とする。

授業の概要・授業方針
各項目について、基礎的な用手法による検査で、試薬の特性や原理等を中心に実習する。

テキスト・参考資料等
教科書（医歯薬出版社）の血液検査学を中心に、試薬等の添付書などを使用。

授業計画	講師
第　1講　血液学の歴史、実習予定項目の確認、レポートの書き方	今村　文章
第　2講　採血と副作用・CBCの試薬準備	今村　文章
第　3講　CBC（RBC・WBC・）測定　以後毎回検体採取(耳朶・静脈）の採血を含む	今村　文章
第　4講　CBC（Ht・Hb）測定	今村　文章
第　5講　CBC（PLT）測定　講義と実習　（直接法・間接法）	今村　文章
第　6講　赤血球抵抗試験　講義（含：HAM試験・砂糖水試験）と（G－Sanford法）	今村　文章
第　7講　網状赤血球計数　講義と実習　（Burecher法）	今村　文章
第　8講　薄層塗抹標本作製と普通染色　講義と実習　（パッペンハイム染色）	今村　文章
第　9講　末梢血：正常血液像（RBC・WBC・血小板）　講義と実習（染色標本の観察）	今村　文章
第10講　末梢血：異常血液像（RBC・WBC・血小板）　講義と実習（染色標本の観察）	今村　文章
第11講　特殊染色　ALP染色（陽性率・陽性指数）　講義と実習（染色標本の観察）	今村　文章
第12講　特殊染色　PO・SSB（陽性率・陽性指数）　講義と実習（染色標本の観察）	今村　文章
第13講　特殊染色　EST染色（非特異・特異）　講義と実習（染色標本の観察）	今村　文章
第14講　特殊染色と急性白血病（FAB分類）　講義と実習（染色標本の観察）	今村　文章
第15講　予備	今村　文章

区分	臨床・専門分野	授業科目名	化学分析検査学	単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	加藤　晶子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	病院勤務にて輸血検査・病理検査を担当。

授業の目的・目標	成績評価の方法
体内物質の代謝と機能及び臨床的意義を理解しその測定法・測定原理を学ぶ。 疾患と検査項目、検査値の臨床的意義を理解する。	出席状況・定期試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
各測定物質の体内代謝と機能の説明。小テスト。	臨床化学検査学/医歯薬出版 ポケットマスター臨床検査知識の整理　臨床化学/医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　脂質とリポ蛋白①	加藤　晶子
第2回　脂質とリポ蛋白②	加藤　晶子
第3回　タンパク質①	加藤　晶子
第4回　タンパク質②	加藤　晶子
第5回　非タンパク性窒素化合物	加藤　晶子
第6回　酵素①	加藤　晶子
第7回　酵素②	加藤　晶子
第8回　ホルモン①	加藤　晶子
第9回　ホルモン②	加藤　晶子
第10回　各種病態と疾患マーカー①	加藤　晶子
第11回　各種病態と疾患マーカー②	加藤　晶子
第12回　検査データの読み方①	加藤　晶子
第13回　検査データの読み方②	加藤　晶子
第14回　まとめ①	加藤　晶子
第15回　まとめ②	加藤　晶子

区分	臨床・専門分野	授業科目名	化学分析検査学実習		単位数	2単位
対象学年	2年次	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年		講義形態	講義・(実習)
担当教員名	菖蒲　巧	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検査センター勤務15か月（血液） 病院勤務18年 （輸血1年、血液2年、細菌2年、一般1年、生化学12年）	

授業の目的・目標
各測定項目の測定原理の理解と実習
生化学的意義・臨床的意義を理解する。
検査結果において基礎的精度管理の理解と実習
各機器の操作の理解

成績評価の方法
定期試験およびレポート提出

授業の概要・授業方針
実際に機器、試薬を用いて測定を行い、測定原理、測定法の理解。
実習の解説。

テキスト・参考資料等
臨床化学検査学/医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　実習に伴う採血の練習・注意事項	菖蒲　巧
第2回　手技誤差の確認（SD、CV）	菖蒲　巧
第3回　分光光度計の基本的操作・注意事項	菖蒲　巧
第4回　分光光度計・吸収スペクトルの抽出・吸収極大検出	菖蒲　巧
第5回　血糖測定実習	菖蒲　巧
第6回　CRE測定実習	菖蒲　巧
第7回　UN測定実習	菖蒲　巧
第8回　アンモニア測定実習	菖蒲　巧
第9回　総蛋白測定実習	菖蒲　巧
第10回　アルブミン測定実習	菖蒲　巧
第11回　タンパク分画（電気泳動法の実際）	菖蒲　巧
第12回　R-CPCとグループワーキング　①	菖蒲　巧
第13回　R-CPCとグループワーキング　②	菖蒲　巧
第14回　R-CPCとグループワーキング　③	菖蒲　巧
第15回　前期のまとめ	菖蒲　巧

区分	臨床・専門分野	授業科目名	微生物検査学実習		単位数	2単位
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年		講義形態	講義 (実習)
担当教員名	横溝　勝	実務経験	(有) 無	実務経験内容	国立長崎長崎中央病院　1年6カ月 国立嬉野病院　9年 国立小倉病院　2年 微生物検査に従事	

授業の目的・目標	成績評価の方法
実習を通し手技や基本をしっかり身に着け同定法を理解する。 菌の特徴を理解し、その感染の危険性などを学ぶ。	定期試験・出席点・実習態度
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
教科書・プリントを中心に実習を行う。	最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学(医歯薬出版) 臨床微生物検査ハンドブック/三輪書店

授業計画	講師
第1回　グラム陽性球菌(復習)・腸内細菌	横溝　勝
第2回　腸内細菌	横溝　勝
第3回　腸内細菌	横溝　勝
第4回　ビブリオ科	横溝　勝
第5回　ビブリオ科	横溝　勝
第6回　パスツレラ科	横溝　勝
第7回　パスツレラ科	横溝　勝
第8回　シュードモナス科	横溝　勝
第9回　シュードモナス科	横溝　勝
第10回　ブルセラ科／フランシセラ科／レジオネラ科／コクシエラ科	横溝　勝
第11回　グラム陰性、微好気性のらせん菌	横溝　勝
第12回　薬剤感受性検査	横溝　勝
第13回　薬剤感受性検査	横溝　勝
第14回　薬剤感受性検査	横溝　勝
第15回　前期まとめ	横溝　勝

区分	臨床・専門分野	授業科目名	免疫検査学	単位数	1
対象学年	2年	開講時期	(前期)・後期 ・ 通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	古田　智春	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検体検査全般、微生物検査、輸血検査、採血業務

授業の目的・目標	成績評価の方法
実技と連携した知識の習得	定期試験にて評価
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
反復演習により知識を定着させる 国家試験問題で応用力を身につける	最新臨床検査学講座　免疫検査学 / 医歯薬出版株式会社

授業計画	講師
1. ABO血液型，亜型	古田　智春
2. RhD血液型	古田　智春
3. その他の血液型	古田　智春
4. 不規則抗体	古田　智春
5. 交差適合試験	古田　智春
6. 溶血性輸血副作用	古田　智春
7. 非溶血性輸血副作用	古田　智春
8. 血液製剤の使用指針	古田　智春
9. HLA検査	古田　智春
10. 免疫学的検査の原理(1)	古田　智春
11. 免疫学的検査の原理(2)	古田　智春
12. 免疫学的検査の実際(1)	古田　智春
13. 免疫学的検査の実際(2)	古田　智春
14. 免疫学的検査の現場(1)	古田　智春
15. 免疫学的検査の現場(2)	古田　智春

区分	臨床・専門分野	授業科目名	輸血・移植検査学実習	単位数	2
対象学年	2年	開講時期	(前期)・後期 ・ 通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	古田　智春	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検体検査全般、微生物検査、輸血検査、採血業務

授業の目的・目標	成績評価の方法
国家試験に必要な知識の習得 臨地実習に必要な基本操作の習得	実習態度、レポート点、定期試験にて評価
授業の概要・授業方針	
グループ検討を交えながら理解を深める	最新臨床検査学講座　免疫検査学 / 医歯薬出版株式会社 輸血・移植検査学実習書/日本臨床検査学教育協議会

授業計画	講師
1. ABO血液型の基本操作（試験管法・スライド法）	古田　智春
2. 部分凝集、被凝集価測定	古田　智春
3. 亜型〈B_m〉	古田　智春
4. 吸着離試験（熱解離）	古田　智春
5. ABO血液型（カラム法）	古田　智春
6. 亜型〈A_2〉、各レクチン反応	古田　智春
7. D陰性確認試験（Rhコントロール陽性）、直接抗グロブリン試験	古田　智春
8. 抗体解離試験（グリシン塩酸/EDTA）	古田　智春
9. 唾液中の型物質検出	古田　智春
10. 不規則抗体スクリーニング	古田　智春
11. 不規則抗体同定検査〈抗Fy^b抗体〉	古田　智春
12. 不規則抗体同定検査〈温式自己抗体〉	古田　智春
13. 不規則抗体同定検査〈抗D抗体〉	古田　智春
14. 抗体解離試験（DT解離）	古田　智春
15. 交差適合試験	古田　智春

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学 ①	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	30年以上の臨床検査技師としての経験と心電図検査、呼吸機能検査、脳波検査、超音波検査の経験

授業の目的・目標

・生理検査（生体検査）についての心構え
・施設内の心電図検査業務の紹介
・心電図波形を読む
・心電図と心疾患の知識と理解を深める。

成績評価の方法

・定期試験
・心電図波形の読解問題等

授業の概要・授業方針

・電気生理学の基礎を理解する。
・刺激伝導系と心電図の成り立ちを理解する。
・心電図検査業務の実際と機器を理解する。
・心電図波形を読むことができる

ソーシャルワーク実習ガイダンス資料

・心電図の読み方 パーフェクトマニュアル
・生理機能検査学 赤本
・過去の国家試験問題
・ベクトルコア/心電図ドリル

授業計画	講師
第1回 臨床経理学検査とは、施設内の心電図検査業務の紹介	城 宏史
第2回 心電図検査の注意事項・心電計、その他の生理検査について	城 宏史
第3回 刺激伝導系と心電図波形の成り立ち	城 宏史
第4回 心臓の動きと心電図変化	城 宏史
第5回 心電図のアーチファクト、調律異常	城 宏史
第6回 心電図の調律異常、頻脈・徐脈の考え方	城 宏史
第7回 心電図の期外収縮について	城 宏史
第8回 心電図の細動・粗動について	城 宏史
第9回 運動負荷試験とホルター心電図検査について	城 宏史
第10回 各種ブロックとWPW症候群説明	城 宏史
第11回 虚血性疾患について	城 宏史
第12回 虚血性疾患、心筋梗塞・狭心症について	城 宏史
第13回 電気生理の基礎とST変化と心臓の動きについて	城 宏史
第14回 心音図検査 心臓の構造と心周期について	城 宏史
第15回 心周期と心雑音について	城 宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学 ③	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	松田　一之	実務経験	(有)・無	実務経験内容	1982年～2015年　長崎みなとメディカルセンターにて脳波検査、筋電図検査および生理検査全般を担当

授業の目的・目標

神経系検査に必要な生理学的基礎を理解し、神経・筋機能検査（脳波、筋電図）の適応がわかる。検査所見が判読できるようになる。また、主要な疾患との関連性を理解する。

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

神経系検査の基礎については教科書、DVD、動画（YouTube）を用い、国家試験対策を意識した講義とする。
脳波検査、筋電図検査は、教科書の重要な図表を理解できるように丁寧な授業を心掛ける。

テキスト・参考資料等

最新臨床検査学講座「第1版　生理機能検査学」（医歯薬出版）
脳波検査実記録、ケーススタディー用脳波
DVD、YouTube

授業計画	講師
第1回　神経系検査の基礎（末梢神経、中枢神経）	松田一之
第2回　神経系検査の基礎（脳幹の機能、神経伝導路）	松田一之
第3回　脳の働きと機能の局在	松田一之
第4回　脳波検査の基礎（臨床的意義、脳波発現の機序、基礎的要素など）	松田一之
第5回　正常脳波、年齢による変化、睡眠脳波	松田一之
第6回　異常脳波（てんかん、突発性異常波など）	松田一之
第7回　筋電図検査に必要な生理学的基礎知識	松田一之
第8回　針筋電図検査（神経原性変化、筋原性変化）、関連する主要な疾患	松田一之
第9回　神経伝導検査、関連する主要な疾患	松田一之
第10回　表面筋電図検査、反復神経刺激検査、経頭蓋磁気刺激検査	松田一之

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学実習 ①	単位数	2
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	30年以上の臨床検査技師としての経験と心電図検査、呼吸機能検査、脳波検査、超音波検査の経験

授業の目的・目標

・生理検査（生体検査）の実際について
・心電図検査の説明ができるようになる
・心電図波形を読む　心電計の取り扱いと装着について
・心電図と心疾患の知識と理解を深める。

成績評価の方法

・定期試験
・心電図波形の読解問題等

授業の概要・授業方針

・電気生理学の基礎を理解する。
・刺激伝導系と心電図の成り立ちを理解する。
・心電図検査業務の実際と機器を理解する。
・心電図波形を読むことができる

ソーシャルワーク実習ガイダンス資料

・心電図の読み方 パーフェクトマニュアル
・生理機能検査学 赤本
・過去の国家試験問題
・ベクトルコア/心電図ドリル

授業計画	講師
第1回　臨床経理学検査とは、施設内の生理査業務の紹介	城　宏史
第2回　心電図検査の注意事項と安全な患者移乗について	城　宏史
第3回　刺激伝導系と心電図波形の成り立ち	城　宏史
第4回　心電図の取り方と電極装着部位について	城　宏史
第5回　心電図の計測、P波・QRS波・T波演習問題	城　宏史
第6回　心電図の記録と波形の読み方、考え方	城　宏史
第7回　演習問題・心電図波形の解説	城　宏史
第8回　心電図の読み方の説明と12誘導心電図の記録	城　宏史
第9回　心電図の国家試験とは、きれいな心電図の取り方	城　宏史
第10回　心電図の取り方と色々なアーチファクトを記録してみる	城　宏史
第11回　心電図の説明と記録ができるようになる。	城　宏史
第12回　心電図の説明と記録ができるようになる。	城　宏史
第13回　運動負荷試験の種類と実際の検査について	城　宏史
第14回　Masterの2階段試験の説明と注意事項について	城　宏史
第15回　運動負荷試験の実際と結果評価について	城　宏史
第16回　トレッドミル負荷心電図とホルター心電図装着について	城　宏史
第17回　トレッドミル負荷心電図とホルター心電図結果評価について	城　宏史
第18回　国家試験問題の解き方と考え方について	城　宏史
第19回　患者移乗の実習　車椅子の取り扱いについて	城　宏史
第20回　患者移乗の説明と車いすの実際に使い方と注意点について	城　宏史
第21回　ペースメーカーと電解質異常、その他の心電図	城　宏史
第22回　その他の心電図波形について	城　宏史
第23回　心周期と心臓の関係	城　宏史
第24回　心周期と心音図検査について	城　宏史
第25回　血圧脈波検査の実際	城　宏史
第26回　動脈硬化検査と動脈硬化疾患について	城　宏史
第27回　末梢動脈硬化疾患検査について	城　宏史
第28回　心周期・動脈硬化関連検査の国試問題	城　宏史
第29回　心電図演習問題、波形問題解説	城　宏史
第30回　右胸心心電図記録と各種アーチファクト対処法について	城　宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学実習 ③	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・後期・通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	松田　一之	実務経験	(有)・無	実務経験内容	1982年～2015年　長崎みなとメディカルセンターにて脳波検査、筋電図検査および生理検査全般を担当

授業の目的・目標

脳波、筋電図検査の電極を正確に取り付けることができ、スムーズな検査が実施できる。異常な波形などトラブルシューティングに対応できる。

成績評価の方法

定期試験
実技試験

授業の概要・授業方針

神経系検査の基礎を理解した上で、脳波検査、筋電図検査の実技を行う。睡眠脳波やてんかんなど波形判読のケーススタディを行う。アーチファクト対策の実技を行う。

テキスト・参考資料等

最新臨床検査学講座「第1版　生理機能検査学」(医歯薬出版)
脳波計の機器操作説明書

授業計画	講師
第1回　電極の配置部位	松田一之
第2回　導出法、モンタージュ、脳波計	松田一之
第3回　脳波電極装着実技	松田一之
第4回　脳波電極装着実技	松田一之
第5回　アーチファクトと対処法	松田一之
第6回　脳波賦活法、脳波実習	松田一之
第7回　脳波ケーススタディ	松田一之
第8回　誘発電位(ABRなど)	松田一之
第9回　針筋電図検査の記録条件と筋電計の設定	松田一之
第10回　運動神経伝導検査(MCV、F波、H反射)	松田一之
第11回　運動神経伝導検査実技	松田一之
第12回　感覚神経伝導検査(SCV)	松田一之
第13回　感覚神経伝導検査実技	松田一之
第14回　神経伝導検査に関連する神経筋疾患まとめ	松田一之
第15回　まとめ、復習	松田一之

区分	臨床・専門分野	授業科目名	画像検査学	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	(前期)・後期・通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	高橋　雄大	実務経験	(有)・無	実務経験内容	消化器・上下肢血管・心臓・関節・甲状腺超音波検査担当経験

授業の目的・目標

各種領域の超音波検査・MRI検査に必要な知識や手技について学ぶ

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

正常な画像の実施できるように検査の原理・基礎・解剖・症例について学習する。

テキスト・参考資料等

医歯薬出版/臨床検査学講座　生理機能検査学

授業計画	講師
第1回　超音波検査の基礎1	高橋雄大
第2回　超音波検査の基礎2	高橋雄大
第3回　腹部超音座学 基礎・解剖	高橋雄大
第4回　腹部超音座学　各論	高橋雄大
第5回　腹部超音座学　症例	高橋雄大
第6回　心臓超音波座学　基礎・解剖	高橋雄大
第7回　心臓超音波座学　各論（計測）	高橋雄大
第8回　心臓超音波座学　症例	高橋雄大
第9回　表在超音波座学（頸動脈・下肢動静脈・乳腺・甲状腺・その他）	高橋雄大
第10回　MRI検査	高橋雄大

区分	臨床・基礎分野	授業科目名	心理学		単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	長浦　由紀	実務経験	(有)・無	実務経験内容	医療（総合診療科、内科、精神科）、教育（小・中・高校・大学・専門学校）、福祉、産業、各領域での相談業務及び教育・研究活動	

授業の目的・目標
（1）人間関係にまつわる心理学の基本的な知識を身につける。（2）学んだことや調べたことを踏まえ、自身の考えを読み手に分かりやすくレポートとしてまとめられるようになる。（3）グループワークで体験的に患者心理や自分の認知や行動傾向を学び、今後のコミュニケーションに活かす。

成績評価の方法
レポート40点、期末試験60点＊詳細はオリエンテーション時に説明。

授業の概要・授業方針
心理学を通して、個・対人関係・集団の側面から人間関係について概論的に学ぶ。さらに、医療現場で患者や医療スタッフとのコミュニケーションを想定し、レポート課題やグループワークを実施する。グループワークでは、HIV検査相談を取り上げ、受検者心理や支援を学ぶことで、心理学の基本的知識を、体験的理解につなげることを目的とする。

テキスト・参考資料等
授業内容に応じて、配布や紹介をする。

授業計画	講師
11月27日（月）	
第1回　オリエンテーション　心理学と人間関係	長浦由紀
第2回　カウンセリング（グループワーク準備）	長浦由紀
12月4日（月）	
第3回　自己理解	長浦由紀
第4回　個人と集団	長浦由紀
12月18日（月）	
第5回　コミュニケーションスキル①（グループワーク）	長浦由紀
第6回　コミュニケーションスキル②（グループワーク）	長浦由紀
12月15日（月）	
第7回　対人行動	長浦由紀
第8回　発達障害と認知症	長浦由紀
1月10日（水）	
第9回　チーム医療	長浦由紀
第10回　ストレスとメンタルヘルス	長浦由紀

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床病理学総論	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義 ・ 実習
担当教員名	南　惣一郎	実務経験	有 ・ 無	実務経験内容	昭和56年5月26日臨床検査技師免許取得、昭和56年4月1日から現国立大学法人長崎大学病院検査部へ勤務している。この間、臨床化学検査、血液凝固検査、微生物検査、輸血検査、遺伝子検査に従事した。同時に医学部学生ポリクリ指導、研修医指導、薬学部学生実習指導、糖尿病療養士指導、栄養学科学生指導、臨床検査技師臨地実習指導等も行なった。

授業の目的・目標

①疾患の成因、病態像、特徴的症状について学び、疾患に関する総合的知識を深める。
②各疾患の診断・治療・予後判定に必要な臨床検査の知識を習得し、臨床検査の意義と重要性を理解する。

成績評価の方法

定期試験

授業の概要・授業方針

テキストに沿って、各章ごとに捕捉説明を加えながら講義を進める。
授業ごとに振り返りを行うことで理解を深める。

テキスト・参考資料等

臨床検査学講座
病態学／臨床検査学総論（医歯薬出版）

授業計画	講師
1. 第11章　神経・運動器疾患　その1	南　惣一郎
2. 第11章　神経・運動器疾患　その2	南　惣一郎
3. 第12章　アレルギー性疾患、膠原病、免疫不全　その1	南　惣一郎
4. 第12章　アレルギー性疾患、膠原病、免疫不全　その2	南　惣一郎
5. 第13章　代謝・栄養障害　その1	南　惣一郎
6. 第13章　代謝・栄養障害　その2	南　惣一郎
7. 第13章　代謝・栄養障害　その3	南　惣一郎
8. 第14章　感覚器疾患　　第15章　中毒	南　惣一郎
9. 第16章　染色体・遺伝子異常症　　第17章　皮膚疾患　　第18章　乳腺疾患	南　惣一郎
10. 第19章　臨床診断学総論　その1	南　惣一郎
11. 第19章　臨床診断学総論　その2　　実際の症例を考えてみよう　ミニRCPC	南　惣一郎
12. 国家試験過去問を解いてみよう	南　惣一郎
13. 第11章～13章の復習	南　惣一郎
14. 第14章～19章の復習	南　惣一郎
15. 後期のまとめ	南　惣一郎

区分	臨床・専門分野	授業科目名	病態解析学演習	単位数	2
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	加藤　晶子　他	実務経験	(有)無	実務経験内容	病院勤務にて輸血検査・病理検査を担当。

授業の目的・目標

グループを作りテーマを決め、企画、計画、実習を通して互いに討論し協力して一つの結果へと導いていくことで、実社会でのチーム医療の形態を学んでいく。また、パソコンを使ってのプレゼンテーションは、卒業後の学会発表等にも応用できるものと考える。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、発表点

授業の概要・授業方針

グループを作りテーマを決め、研究を進めていく。最終的な研究成果について、九州医学技術専門学校研究発表会で発表する。

テキスト・参考資料等

授業計画	講師
第1回　グループ・自主研究テーマ決め	内勤講師
第2回　自主研究	内勤講師
第3回　自主研究	内勤講師
第4回　自主研究	内勤講師
第5回　自主研究	内勤講師
第6回　自主研究	内勤講師
第7回　自主研究	内勤講師
第8回　自主研究	内勤講師
第9回　自主研究	内勤講師
第10回　自主研究	内勤講師
第11回　自主研究	内勤講師
第12回　自主研究	内勤講師
第13回　自主研究	内勤講師
第14回　自主研究	内勤講師
第15回　自主研究	内勤講師
第16回　自主研究	内勤講師
第17回　自主研究	内勤講師
第18回　自主研究	内勤講師
第19回　自主研究	内勤講師
第20回　自主研究	内勤講師
※　講師は内勤講師が内容に応じ担当する。	

区分	臨床・専門分野	授業科目名	病理検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	秀島　克巳	実務経験	(有)・無	実務経験内容	病理細胞診業務の経験があり、検体処理・染色からスクリーニングまでの知識と技術を有する。

授業の目的・目標
①病理細胞診業務の目的と実際を理解する。 ②細胞診に必要な正常細胞像と悪性細胞像を理解する。 ③細胞診業務の検体処理から染色までを理解する。 ④スクリーニング業務から診断までを理解する。

成績評価の方法
出欠状況・定期試験

授業の概要・授業方針
①細胞の写真スライド、実際の染色標本を使って正常から悪性までの基礎的な細胞像を学習する。②検体処理、染色、細胞の読みを実習する(班単位で教えあうことが重要)。 ③国家試験を意識した内容も取り上げる。

テキスト・参考資料等
実践細胞診テキスト
・最新臨床検査学講座　　病理学/病理検査学
・講師作成資料　など

授業計画	講師
第1回　細胞診断学総論	秀島　克巳
第2回　婦人科細胞診　1(子宮頚部:正常、ホルモン、感染症)	秀島　克巳
第3回　婦人科細胞診　2(子宮頚部:異形成～悪性)	秀島　克巳
第4回　婦人科細胞診　3(子宮体部、その他)	秀島　克巳
第5回　検体処理～染色　1(講義)	秀島　克巳
第6回　呼吸器細胞診　1(正常、感染症)	秀島　克巳
第7回　呼吸器細胞診　2(異形成～悪性腫瘍)	秀島　克巳
第8回　鏡検実習　1(婦人科、呼吸器)	秀島　克巳
第9回　鏡検実習　2(婦人科、呼吸器)	秀島　克巳
第10回　その他の細胞診　1	秀島　克巳
第11回　その他の細胞診　2	秀島　克巳
第12回　その他の細胞診　3	秀島　克巳
第13回　検体処理～染色　1(講義)	秀島　克巳
第14回　検体処理～染色　2(実習)	秀島　克巳
第15回　細胞診のスクリーニング、その他	秀島　克巳
第16回　鏡検実習(総合)	秀島　克巳

区分	臨床・専門分野	授業科目名	血液検査学実習	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期・(後期)・通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	今村　文章	実務経験	(有)・無	実務経験内容	三菱鉱業端島鉱病院検査部に5年、健康保険諫早総合病院に34年（計39年臨床検査技師として勤務）。その間、日臨技血液検査研究班班長などを歴任、平成15年には認定血液検査技師となる。

授業の目的・目標
止血、凝固、線溶等について臨床検査技師として必要な臨床的意義等を踏まえ、各項目について実習し、疾患との関連を明確にする。

成績評価の方法
出欠状況、授業態度は勿論であるが、質問に対する回答能力も評価したい。最終的には試験での評価とする。

授業の概要・授業方針
各項目について、基礎的な用手法による検査で、試薬の特性や原理等を中心に実習する。

テキスト・参考資料等
教科書（医歯薬出版社）の血液検査学を中心に、試薬等の添付書などを使用。

授業計画			講師
後　期			
第　1講	止血・凝固・線溶	講義と実習：出血時間・毛細血管抵抗試験（陰圧法・用圧法）	今村　文章
第　2講	凝固時間：基礎	全血凝固時間、Ca再加時間	今村　文章
第　3講	凝固時間：外因系 凝固時間：複合因子	PT（プロトロンビン時間）、 TTO（トロンボテスト）・HPT（ヘパプラスチンテスト）講義のみ	今村　文章
第　4講	凝固時間：内因系	APTT（活性化部分トロンボプラスチン時間） クロスミキシング試験（Bethesda法）講義のみ	今村　文章
第　5講	凝固時間：第3相	フィブリノゲン（トロンビン法）	今村　文章
第　6講	クロスミキシング試験	血友病抗体など	今村　文章
第　7講	凝固阻止機構 線溶機構・線溶阻止機構	アンチトロンビンなど プラスミノゲン	今村　文章
第　8講	線溶機構・繊維素溶解現象	FDP・D－Dダイマー	今村　文章
第　9講	出血性疾患、血栓性疾患		今村　文章
第10講	予備		今村　文章

区分	臨床・専門分野	授業科目名	遺伝子・染色体検査学実習		単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期・(後期)・通年		講義形態	講義・(実習)
担当教員名	松本　成良　他	実務経験	(有)・無	実務経験内容	遺伝子検査室にて遺伝子変異等の検出、解析、臨床への報告を実務経験とする。	

授業の目的・目標	成績評価の方法
DNA抽出、核酸増幅、増幅産物の検出までの操作技術を理解、習得し、遺伝子検査としての判定ができることを目標とする。	筆記試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
遺伝子検査の原理を理解し、基礎知識を深め、正しい基本操作を習得する。	遺伝子・染色体検査学　医歯薬出版

授業計画	講師
遺伝子検査の概要1（講義）	佐々木・森・松本・山内
遺伝子検査の概要2（講義）	佐々木・森・松本・山内
血液からの核酸抽出（実習）	佐々木・森・松本・山内
血液からの核酸抽出（実習）	佐々木・森・松本・山内
核酸抽出まとめ（講義）	佐々木・森・松本・山内
遺伝子増幅法・核酸検出法（講義）	佐々木・森・松本・山内
PCR法による遺伝子増幅（実習）	佐々木・森・松本・山内
アガロースゲル電気泳動による増幅産物の検出（実習）	佐々木・森・松本・山内
アガロース電気泳動像の観察および解説（実習）	佐々木・森・松本・山内
遺伝子増幅法・核酸検出法まとめ（講義）	佐々木・森・松本・山内
遺伝子増幅法・核酸検出法・応用（講義）	佐々木・森・松本・山内
PCR法による遺伝子増幅・応用（実習）	佐々木・森・松本・山内
アガロースゲル電気泳動による増幅産物の検出・応用（実習）	佐々木・森・松本・山内
アガロース電気泳動像の観察および解説（実習）	佐々木・森・松本・山内
遺伝子・染色体検査学実習まとめ（講義）	佐々木・森・松本・山内

区分	臨床・専門分野	授業科目名	化学分析検査学実習		単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	菖蒲　巧	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検査センター勤務15か月（血液） 病院勤務18年 （輸血1年、血液2年、細菌2年、一般1年、生化学12年）	

授業の目的・目標
各測定項目の測定原理の理解と実習
生化学的意義・臨床的意義を理解する。
検査結果において基礎的精度管理の理解と実習
各機器の操作の理解

成績評価の方法
定期試験およびレポート提出

授業の概要・授業方針
実際に機器、試薬を用いて測定を行い、原理、測定法の理解。
実習の解説。

テキスト・参考資料等
臨床化学検査学/医歯薬出版
臨床化学検査学実習書/医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　翼状針採血の実習	菖蒲　巧
第2回　LD活性測定実習	菖蒲　巧
第3回　AST・ALT測定実習	菖蒲　巧
第4回　ALP活性測定	菖蒲　巧
第5回　添加回収試験実習	菖蒲　巧
第6回　血清鉄測定実習	菖蒲　巧
第7回　Ca測定実習解説	菖蒲　巧
第8回　まとめ	菖蒲　巧

区分	臨床・専門分野	授業科目名	微生物検査学		単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	横溝　勝	実務経験	(有)無	実務経験内容	国立長崎長崎中央病院　1年6カ月 国立嬉野病院　9年 国立小倉病院　2年 微生物検査に従事	

授業の目的・目標	成績評価の方法
基礎的に学んだことを各微生物について応用し、各検査法や手技を学び理解していく。	定期試験・出席点
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
教科書を中心にミニテストを交えながらすすめていく。	最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学（医歯薬出版）

授業計画	講師
第1回　グラム陽性、好気性の桿菌	横溝　勝
第2回　グラム陽性、好気性の桿菌	横溝　勝
第3回　グラム陽性、抗酸性の桿菌	横溝　勝
第4回　ノカルジア科／ツカムレラ科	横溝　勝
第5回　偏性嫌気性菌	横溝　勝
第6回　嫌気性球菌（グラム陽性・陰性）	横溝　勝
第7回　嫌気性桿菌（グラム陽性・陰性）	横溝　勝
第8回　嫌気性芽胞菌	横溝　勝
第9回　スピロヘータ科・レプトスピラ科	横溝　勝
第10回　マイコプラズマ科	横溝　勝
第11回　リケッチア・クラミジア科	横溝　勝
第12回　検査材料別検査法	横溝　勝
第13回　検査材料別検査法	横溝　勝
第14回　検査材料別検査法	横溝　勝
第15回　総括	横溝　勝

区分	臨床・専門分野	授業科目名	微生物検査学実習	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	横溝　勝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	国立長崎長崎中央病院　1年6カ月 国立嬉野病院　9年 国立小倉病院　2年 微生物検査に従事

授業の目的・目標

真菌、嫌気性菌について、手技や基本をしっかり身に着ける。菌の特徴をさらに理解し、その取り扱いや感染の危険性など学ぶ。

成績評価の方法

定期試験・出席点・実習態度

授業の概要・授業方針

教科書・プリントを中心に実習を行う。

テキスト・参考資料等

最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学（医歯薬出版）
臨床微生物検査ハンドブック/三輪書店

授業計画	講師
第1回　真菌（総論）	横溝　勝
第2回　真菌（各論）	横溝　勝
第3回　真菌（実習）	横溝　勝
第4回　真菌（実習）	横溝　勝
第5回　真菌（実習）	横溝　勝
第6回　嫌気性菌（実習）	横溝　勝
第7回　嫌気性菌（実習）	横溝　勝
第8回　嫌気性菌（実習）	横溝　勝

区分	臨床・専門分野	授業科目名	輸血・移植検査学実習	単位数	1
対象学年	2年	開講時期	前期・(後期)・通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	古田　智春	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検体検査全般、微生物検査、輸血検査、採血業務

授業の目的・目標	成績評価の方法
国家試験で求められる知識の習得 実戦で役立つ基本的な操作の習得	実習態度、レポート点、定期試験にて評価
授業の概要・授業方針	
グループ検討を交えながら理解を深める	最新臨床検査学講座　免疫検査学 / 医歯薬出版株式会社 免疫検査学　実習書 / 日本臨床検査学教育協議会

授業計画	講師
1. 梅毒血清反応（脂質抗原法、TP抗原法）	古田　智春
2. CRP（LA法）	古田　智春
3. 血清補体価：CH_{50}（溶解法）	古田　智春
4. マイコプラズマ抗体（PA法）	古田　智春
5. 唾液中コルチゾール測定（ELISA法）	古田　智春
6. 検体採取、インフルエンザ抗原（IC法）	古田　智春
7. 抗核抗体（蛍光抗体法）、免疫電気泳動法 測定原理	古田　智春

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学 ②	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年	講義形態	(講義) ・ 実習
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有) ・ 無	実務経験内容	呼吸機能検査を25年の実務

授業の目的・目標
呼吸は、循環と共に生命の維持に不可欠な機能です。基礎的知識と同様に酸・塩基に関する知識も含め、種々の呼吸器疾患について見識を深めてほしい。

成績評価の方法
①毎回授業前に小テスト
②定期試験　　③授業態度

授業の概要・授業方針
教科書に沿って基礎的理解と医療現場での実際と医療機器等を示しながら、実習も含めた授業に生かしてゆく。
過去の国試問題も踏まえた講義内容にする。

テキスト・参考資料等
臨床生理検査学教本/医歯薬出版/臨床
肺機能テキスト、血液ガステキスト
呼吸機能検査技術教本（JAMT技術教本）

授業計画	講師
第1回　呼吸整理の基礎と1年生の復讐	城　宏史
第2回　呼吸調節機能　神経調節・化学調節	城　宏史
第3回　呼吸機能検査　換気機能検査について	城　宏史
第4回　フローボリュウム曲線の評価と機能的残気量	城　宏史
第5回　肺胞機能検査の概念と原理	城　宏史
第6回　シャントと換気血流比不均等	城　宏史
第7回　血液ガス分析検査の概念と原理	城　宏史
第8回　血液ガス検査結果の読み方	城　宏史
第9回　基礎代謝の概念と実際　運動負荷試験	城　宏史
第10回　睡眠時無呼吸検査の概念と実際	城　宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学実習 ②	単位数	1
対象学年	2学年	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	呼吸機能検査を25年の実務

授業の目的・目標	成績評価の方法
呼吸は、循環と共に生命の維持に不可欠な機能です。基礎的知識と同様に酸・塩基に関する知識も含め、種々の呼吸器疾患について見識を深めてほしい。	①毎回授業前に小テスト ②定期試験　　③授業態度
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
教科書に沿って基礎的理解と医療現場での実際と医療機器等を示しながら、実習も含めた授業に生かしてゆく。 過去の国試問題も踏まえた講義内容にする。	臨床生理検査学教本/医歯薬出版/臨床 肺機能テキスト、血液ガステキスト 呼吸機能検査技術教本（JAMT技術教本）

授業計画	講師
1回　呼吸器の肺の構造と機能について	城　宏史
2回　呼吸調整と基本的事項　使用する記号と必要な化学の知識	城　宏史
3回　換気機能検査と肺気量分画	城　宏史
3回　スパイロメトリーとフローボリュウム曲線	城　宏史
4回　スパイロメトリーとフローボリュウム曲線の評価	城　宏史
5回　機能的残気量	城　宏史
6回　肺コンプライアンスと気道抵抗・呼吸抵抗	城　宏史
7回　気道可逆性試験と気道過敏試験　呼吸筋試験	城　宏史
8回　肺胞機能検査　換気不均等分布の検査法	城　宏史
9回　一酸化炭素の肺拡散能力試験（DLco）	城　宏史
10回　シャント測定と換気血流比不均等試験	城　宏史
11回　血液学分析装置について	城　宏史
12回　血液ガスの原理検体取り扱いについて	城　宏史
13回　血液ガス分析結果の解釈	城　宏史
14回　血液ガス分析の実際と判定基準及び解釈について	城　宏史
15回　エネルギー代謝と呼気ガス分析	城　宏史
16回　基礎代謝の概念と実際	城　宏史
17回　運動負荷試験	城　宏史
18回　睡眠時無呼吸検査について	城　宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学実習 ④	単位数	1単位
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	松田　一之	実務経験	(有)・無	実務経験内容	1982年～2015年　長崎みなとメディカルセンターにて心音図、脈管疾患検査、感覚機能検査および生理検査全般を担当

授業の目的・目標
心音図、脈管疾患検査、感覚機能検査について知識を深め、国家試験に対応できる。
3年次臨地実習で困らない実践力をつける。

成績評価の方法
定期試験

授業の概要・授業方針
教科書に沿った解説と、実際の検査の様子や結果を示して臨地実習に備えた講義とする。
脈管疾患検査はグループ学習にて担当検査をプレゼンテーションする。
国家試験に対応した授業内容とする。

テキスト・参考資料等
最新臨床検査学講座「第1版　生理機能検査学」医歯薬出版

授業計画	講師
第1回　循環器系検査の基礎、心周期	松田　一之
第2回　心音図検査	松田　一之
第3回　異常心音図	松田　一之
第4回　心音図ケーススタディ	松田　一之
第5回　心音図検査小テスト	松田　一之
第6回　脈管疾患検査グループ学習	松田　一之
第7回　脈管疾患検査グループ学習	松田　一之
第8回　脈管疾患検査プレゼンテーション（ABI、PWV、指尖容積脈波、FMD）	松田　一之
第9回　脈管疾患検査ケーススタディ、小テスト	松田　一之
第10回　平衡機能検査	松田　一之
第11回　平衡機能検査実習、小テスト	松田　一之
第12回　眼底カメラ実習	松田　一之
第13回　眼底カメラ実習	松田　一之
第14回　眼底検査ケーススタディ、小テスト	松田　一之
第15回　味覚・嗅覚検査	松田　一之
第16回　味覚・嗅覚検査小テスト	松田　一之

区分	臨床・専門分野	授業科目名	画像検査学実習		単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年		講義形態	講義 ・ (実習)
担当教員名	高橋　雄大	実務経験	(有)・無	実務経験内容	消化器・上下肢血管・心臓・関節・甲状腺超音波検査担当経験	

授業の目的・目標	成績評価の方法
各種領域の超音波検査・MRI検査に必要な知識や手技について学ぶ	定期試験
授業の概要・授業方針 正常な画像の描出ができるよう各領域ごとに実習を行う。	**テキスト・参考資料等** 医歯薬出版/臨床検査学講座　生理機能検査学

授業計画	講師
第1回　腹部超音波実習（肝臓・胆のう・腎臓・膵臓・脾臓）	高橋雄大
第2回　腹部超音波実習（肝臓・胆のう・腎臓・膵臓・脾臓）	高橋雄大
第3回　腹部超音波実習（肝臓・胆のう・腎臓・膵臓・脾臓）	高橋雄大
第4回　心臓超音波実習 基本画像の描出	高橋雄大
第5回　心臓超音波実習　ドップラー機能	高橋雄大
第6回　心臓超音波実習　計測	高橋雄大
第7回　表在超音波実習（頸動脈・下肢動静脈・乳腺・甲状腺・その他）実習	高橋雄大
第8回　MRI検査	高橋雄大

区分	臨床・専門分野	授業科目名	検査管理総論		単位数	1単位
対象学年	2年次	開講時期	前期 (後期)・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	諸隈　博	実務経験	(有)無	実務経験内容	検体検査から生理検査までの全体的な経験があり、また技師長職としての検査管理業務の経験を有する。	

授業の目的・目標

①医療施設における検査室の役割や業務内容、及び医療における検査情報の重要性を理解する。 ②臨床検査の全領域における検体の適切な処理方法・保存方について学習する。 ③患者全体情報の信頼性を保証するための精度管理の重要性やその評価方法を理解する。④検査の医療安全管理と倫理を学ぶ。

成績評価の方法

出欠状況・定期試験

授業の概要・授業方針

①講義を中心に行う。臨床検査技師の成り立ち、臨床検査技師教育などについて法律を交えて学習する。 ②検査管理業務に必要な用語の解説、検体の取り扱い、臨床検査の生命線と言える精度管理業務についても基礎的なことを中心に学習し、関連する科目の授業にも役立たせる。 ③さらには国家試験を意識した内容として充実させる。④小テストを織り交ぜ、定期試験を迎える。

テキスト・参考資料等

・最新臨床検査学講座　検査総合管理学
・講師作成資料など

授業計画	講師
第1回　1章　臨床検査技師の役割と使命　　2章　臨床検査の意義	諸隈　博
第2回　3章　臨床検査部門の業務と管理-1	諸隈　博
第3回　3章　臨床検査部門の業務と管理-2	諸隈　博
第4回　4章-1　検体の採取と保存①	諸隈　博
第5回　4章-1　検体の採取と保存②　　4章ー2検査の受付と報告	諸隈　博
第6回　予備（小テストなど）	諸隈　博
第7回　5章　検査の精度保障1	諸隈　博
第8回　5章　検査の精度保障2	諸隈　博
第9回　5章　検査の精度保障3	諸隈　博
第10回　5章　検査情報	諸隈　博
第11回　予備（小テストなど）	諸隈　博
第12回　　6章　検査の安全管理と倫理	諸隈　博

区分	臨床・専門分野	授業科目名	薬理学		単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年		講義形態	(講義) ・ 実習
担当教員名	岡本 信惠	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・愛媛県立衛生研究所疫学情報科勤務　腎移植センター兼務、感染症サーベイランス事業、腎移植、骨髄移植適合検査等に携わる。 ・対馬いづはら病院勤務、薬局にて調剤業務、検査室にてTDM等。 ・塩塚薬局　調剤、一般医薬品販売、健康相談	

授業の目的・目標	成績評価の方法
①医療品とは何かを理解し、医療品の作用機序について概要を説明できるようにする。 ②薬物の体内動態を理解し、薬物相互作用とその回避法について説明できるようにする。 ③TDM、検査値に対する薬物の影響等、薬物と臨床検査の関係を理解する。	出席と試験の結果で評価する
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
①～③が修得できるよう、教科書と資料を用いての講義と演習	プリント配布

授業計画	講師
1　薬理学の概要	岡本　信惠
2　薬物と法令	岡本　信惠
3　薬物の作用	岡本　信惠
4　薬物の効果に影響を及ぼす要因	岡本　信惠
5　薬物の投与経路	岡本　信惠
6　薬物の体内動態	岡本　信惠
7　薬物の相互作用	岡本　信惠
8　薬物と臨床検査	岡本　信惠
9　まとめ	岡本　信惠
10　演習と解説	岡本　信惠

区分	臨床・専門分野	授業科目名	医療安全管理学	単位数	2単位
対象学年	2年生	開講時期	前期・(後期)・通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	森　英恵	実務経験	(有)・無	実務経験内容	感染制御センター所属 感染管理認定看護師

授業の目的・目標	成績評価の方法
医療事故や院内感染を未然に防ぐための基礎知識を学ぶ。 各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理を学ぶ。	出席状況 提出物提出状況（あった場合） 筆記試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
講義形式の他、グループワークや演習を通し、臨床の場で必要な医療安全や感染予防の知識を深める。	必要時、プリントを配布する。

授業計画	講師
1. チーム医療	森　英恵
1）チーム医療	
2)ICT活動からチーム医療を考える	
2. ヒューマンエラー	森　英恵
リスクマネジメント	
・なぜ、医療安全を学ぶのか考える	
・病院における医療安全の取り組み紹介	
3. 医療安全とコミュニケーション	森　英恵
・情報伝達エラー	
・患者参加の医療安全	
4. 事故発生時の対応　患者誤認防止	森　英恵
5. 標準予防策	森　英恵
・手指衛生、個人防護具について	
・職業感染	
6. 感染経路別予防策	森　英恵
・接触、飛沫予防策	
・空気予防策	
7～16. 検体採取における安全対策・感染防止対策	森　英恵
・臨床検査技師の検体採取	
・各部位からの検体採取	
採血・静脈路確保・造影剤注入等・皮下グルコース検査・吸引痰・肛門機能・内視鏡検体採取	
17～20. 医療事故対応、事故分析方法	森　英恵
・患者取り違え、検体取り違え（KYT）	
・事例をもとに分析　（なぜなぜ分析）	

区分	臨床・その他	授業科目名	就職対策	単位数	
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	西村　史　他	実務経験	(有)・無	実務経験内容	大学、専門学校での経理、教務事務経験あり。

授業の目的・目標	成績評価の方法
3年次の就職活動に向け、履歴書の書き方や面接練習など実践的な就職対策を行い、早期の就職内定を目標とする。	
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
就職活動の流れと心構え、求人票の見方、自己分析、履歴書の書き方、面接指導を行う。また、外部講師を招き、実際の就職試験を想定した模擬面接を行う。	適宜プリント配布

授業計画	講師
第 1回　就職活動の進め方・就職希望調査	内勤講師
第 2回　自己分析	内勤講師
第 3回　履歴書の書き方	内勤講師
第 4回　自己PRの書き方	内勤講師
第 5回　面接について	内勤講師
第 6回　コミュニケーションとは①	内勤講師
第 7回　コミュニケーションとは②	内勤講師
第 8回　面接練習	内勤講師
第 9回　面接練習	内勤講師
第10回　面接練習	内勤講師
第11回　面接練習	内勤講師
第12回　面接練習	内勤講師
第13回　面接練習	内勤講師
第14回　面接練習	内勤講師
第15回　面接練習	内勤講師
第16回　面接練習	内勤講師
第17回　面接練習	内勤講師
※講師は内勤講師が内容に応じ担当する。	

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	生理学		単位数	1単位
対象学年	3年生	開講時期	前期 ・ 後期 ・ (通年)		講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	松田　一之	実務経験	(有)・無	実務経験内容	長崎みなとメディカルセンターにて、生理検査全般を担当。	

授業の目的・目標
1年次に学習した生理学の総点検。
生理解剖学の知識を深め、国家試験に対応できるようになる。生理学の講義を通して生理機能検査の原理、意義、応用を理解する。

成績評価の方法
卒業認定試験（単位認定試験）

授業の概要・授業方針

校外模試や国家試験過去問題を通じて、それぞれの分野の解説と対策を行うことで理解を深める。生理学教科書は、参考書として利用する。

テキスト・参考資料等
最新臨床検査学講座「生理学」「第1版　生理機能検査学」医歯薬出版

授業計画	講師
第1回：心・血管系	松田　一之
第2回：呼吸器系（肺換気・循環）	松田　一之
第3回：呼吸器系（ガス交換）	松田　一之
第4回：消化器系（消化管、肝・胆・膵）	松田　一之
第5回：消化器系（ホルモン）	松田　一之
第6回：腎臓と体液（尿の生成と排泄、水電解質調節）	松田　一之
第7回：腎臓と体液（酸−塩基平衡）	松田　一之
第8回：血液、造血器	松田　一之
第9回：凝固、免疫	松田　一之
第10回：神経系（神経生理の基礎）	松田　一之
第11回：神経系（中枢神経、末梢神経）	松田　一之
第12回：感覚系（体性感覚、視覚）	松田　一之
第13回：感覚系（聴覚、前庭感覚、味覚、臭覚）	松田　一之
第14回：内分泌系（ホルモンの作用と調節）	松田　一之
第15回：内分泌系（内分泌臓器とそのホルモン）	松田　一之
第16回：生殖系（女性生殖）	松田　一之
第17回：生殖系（男性生殖）	松田　一之
第18回：運動系	松田　一之
第19回：生理学まとめ	松田　一之

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	生化学		単位数	1単位
対象学年	3年次	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	加藤　晶子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	病院勤務にて輸血検査・病理検査を担当。	

授業の目的・目標	成績評価の方法
国家試験合格に向けての基礎理解	出席状況・校内模擬試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
国家試験の解説、それに付随する箇所の説明。	生化学/医歯薬出版、わかりやすい生化学/ヌーヴェルヒロカワ、国家試験問題集/日本臨床検査学教育協議会

授業計画	講師
第1回　生化学復習①	加藤　晶子
第2回　生化学復習②	加藤　晶子
第3回　生化学復習③	加藤　晶子
第4回　国家試験対策問題①糖質	加藤　晶子
第5回　国家試験対策問題②脂質	加藤　晶子
第6回　国家試験対策問題③蛋白質	加藤　晶子
第7回　国家試験対策問題④非蛋白性窒素	加藤　晶子
第8回　国家試験対策問題⑤生体色素	加藤　晶子
第9回　国家試験対策問題⑥酵素	加藤　晶子
第10回　国家試験対策問題⑦薬物	加藤　晶子
第11回　国家試験対策問題⑧ホルモン①	加藤　晶子
第12回　国家試験対策問題⑨ホルモン②	加藤　晶子
第13回　国家試験対策問題⑩疾患マーカー	加藤　晶子
第14回　国家試験対策　まとめ	加藤　晶子
第15回　国家試験対策　まとめ	加藤　晶子

区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	医用工学概論実習 （情報科学）	単位数	1
対象学年	3年生	開講時期	前期・(後期)・通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	船津 由季子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	情報処理の授業、検定・国試対策などを受け持った経験あり

授業の目的・目標	成績評価の方法
・臨床検査技師試験合格 ・医用工学（情報科学）分野理解	定期試験評価 課題提出
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
過去問やプリントなど、徹底解析	・情報活用試験3級テキスト ・過去問題集 ・過去模擬試験

授業計画	講師
情報科学テキスト復習（五大装置等）	船津　由季子
ネットワーク関連	船津　由季子
セキュリティ関連	船津　由季子
学生手持ち問題集　解説	船津　由季子
過去模擬試験集　解説・解答	船津　由季子

区分	臨床・専門分野	授業科目名	病態解析学演習		単位数	1
対象学年	3年生	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	藤田　修一	実務経験	(有)・無	実務経験内容	長崎大学病院 病理診断科・病理部で、病理組織診断・細胞診業務に携わっている。	

授業の目的・目標

病態解析学（病態学／臨床検査医学総論）は医療分野での専門知識と技術を習得するために必要な、医学の基礎を学ぶ科目で、臨床検査により、病態を解析し、診断・治療方針の決定・経過の観察・予後判定に寄与する臨床医学である。授業は疾患の原因や成り立ちを講義し、これに基づいて、検査の意義を理解し、検査結果を解釈できることを目的とする。

成績評価の方法

卒業認定試験（単位認定試験）

授業の概要・授業方針

授業では、臓器別・原因別に疾患の病態を概説し、対応する検査法や、その意義と結果の解釈を解説する。多数の臓器にわたって異常をきたす疾患も多いので留意すること。本授業は国家試験の対策としての側面もあるため、既出の国家試験問題に即して授業を進める。

テキスト・参考資料等

・指定の国家試験問題集
・最新臨床検査学講座　病態学／臨床検査医学総論（奈良信雄　他編　医歯薬出版）

授業計画	講師
【前期】	
第1回　序論、病気の症状と検査	藤田　修一
第2回　循環器疾患	藤田　修一
【後期】	
第1回　呼吸器疾患	藤田　修一
第2回　消化器疾患	藤田　修一
第3回　肝・胆・膵疾患	藤田　修一
第4回　肝・胆・膵疾患	藤田　修一
第5回　血液・造血器疾患	藤田　修一
第6回　血液・造血器疾患	藤田　修一
第7回　内分泌疾患	藤田　修一
第8回　内分泌疾患	藤田　修一
第9回　腎・尿路疾患	藤田　修一
第10回　腎・尿路疾患	藤田　修一
第11回　神経・運動器疾患	藤田　修一
第12回　感染症	藤田　修一
第13回　血液検査の異常	藤田　修一
第14回　体液・電解質・酸−塩基平衡の異常	藤田　修一
第15回　免疫異常	藤田　修一
第16回　代謝・栄養障害	藤田　修一
第17回　代謝・栄養障害	藤田　修一
第18回　染色体・遺伝子の異常	藤田　修一
第19回　悪性腫瘍の検査	藤田　修一
第20回　総括	藤田　修一

区分	臨床・専門分野	授業科目名	病理検査学		単位数	1単位
対象学年	3年次	開講時期	前期 ・ 後期 ・ (通年)		講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	秀島　克巳	実務経験	(有)・無	実務経験内容	病理検査学の全体的な経験があり、基礎的な組織学・病理学を理解し、臓器の固定、包埋、薄切、染色等の実践的な経験を有する。	

授業の目的・目標
病理検査学の全体的な復習を行い、国家試験合格を目指す。

成績評価の方法
・出欠状況　・単位認定試験　・卒業認定試験

授業の概要・授業方針
①病理検査学実習（組織及び細胞診）の復習、病理学総論、各論の復習。②国家試験形式の問題で実践力を養う。

テキスト・参考資料等
・最新臨床検査学講座　　病理学/病理検査学
・医療系学生のための病理学（第4班）
・実践細胞診テキスト
・講師作成資料　など

授業計画	講師
第1回　臨地実習を前に	秀島　克巳
第2回　細胞診（国試対策）	秀島　克巳
第3回　病理検査動画（病理組織検査、術中迅速診断、細胞診、病理解剖）	秀島　克巳
第4回　写真問題（組織）	秀島　克巳
第5回　写真問題（細胞）	秀島　克巳
第6回　病理組織標本作製の手順（固定～薄切）　凍結切片標本作製①	秀島　克巳
第7回　病理組織標本作製の手順（固定～薄切）　凍結切片標本作製②　国試対策問題	秀島　克巳
第8回　国試対策（染色　1）、問題	秀島　克巳
第9回　国試対策（染色　2）、問題	秀島　克巳
第10回　国試対策（染色　3）、問題	秀島　克巳
第11回　国試対策（免疫染色）、問題	秀島　克巳
第12回　国試対策（電子顕微鏡、病理解剖、病理検査業務の管理）、問題	秀島　克巳
第13回　国試対策（細胞診1）、問題	秀島　克巳
第14回　国試対策（細胞診2）、問題	秀島　克巳
第15回　国試対策（病理組織学的検査　総合）、問題	秀島　克巳
第16回　国試対策（病理学総論　1）、問題	秀島　克巳
第17回　国試対策（病理学総論　2）、問題	秀島　克巳
第18回　国試対策（病理学総論　3）、問題	秀島　克巳
第19回　国試対策（病理学総論　4）、問題	秀島　克巳
第20回　国試対策（病理学総論　5）、問題	秀島　克巳
第21回　国試対策（病理学総論・各論　問題）1	秀島　克巳
第22回　国試対策（病理学総論・各論　問題）2	秀島　克巳
第23回　国試対策（病理学総論・各論　問題）3	秀島　克巳

区分	臨床・専門分野	授業科目名	血液検査学		単位数	1単位
対象学年	3年生	開講時期	前期 ・ 後期 ・ (通年)		講義形態	(講義) 実習
担当教員名	今村　文章	実務経験	(有)・無	実務経験内容	三菱鉱業端島鉱病院検査部に5年、健康保険諫早総合病院に34年（計39年臨床検査技師として勤務）。 その間、日臨技血液検査研究班班長などを歴任、 平成15年には認定血液検査技師となる。	

授業の目的・目標	成績評価の方法
前期については臨地実習に対応できる医療現場の実情を講義。後期については国家試験合格を目指す為の講義を行う。	出欠状況、授業態度は勿論であるが、質問に対する回答能力も評価したい。最終的には単位認定試験、卒認試験での評価とする。
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
前期は臨地実習に行くに当たり、身に着けておきたいマナーや最低限求められる質問に対応できることを目的とする。 後期は国家試験に向けて血液学の基礎から疾患をこうぎし、後半は国試過去問を中心に解説する。	教科書（医歯薬出版社）の血液検査学を中心に、国家試験問題解説集などを使用。

授業計画	講師
【前期】	
第　1講　臨地実習の注意点と学内実習との違い　　ルーチン検査を中心に	今村　文章
第　2講　臨地実習施設における検査の現状、オーダリング・自動分析機・特殊検査等について	今村　文章
第　3講　血液検査（CBC・形態・凝固・線溶）の基礎と注意点	今村　文章
【後期】	
第　1講　血液の基礎・採血と抗凝固剤・・・・・成分、性状、機能、産生と崩壊	今村　文章
第　2講　赤血球・白血球・血小板の産生と崩壊	今村　文章
第　3講　赤血球・白血球・血小板の増減と疾患（1）	今村　文章
第　4講　赤血球・白血球・血小板の増減と疾患（2）	今村　文章
第　5講　止血機構・・・・血管と止血、血小板の機能、血小板に関わる疾患	今村　文章
第　6講　凝固の機序と凝固抑制機構、第1相、第2相、第3相、内因系、外因系、共通系	今村　文章
第　7講　凝固の検査（内因系、外因系、Fib、複合因子）	今村　文章
第　8講　線溶と線溶抑制の機序、線溶因子の産生と構造、機能、線溶抑制機構	今村　文章
第　9講　線溶因子及び抑制因子の検査、分子マーカー	今村　文章
第10講　出血性素因・・検査と疾患、血栓症・抗血栓療法	今村　文章
第11講　形態検査・・・・普通染色、特殊染色、MG染色、PO染色、Est染色ほか	今村　文章
第12講　末梢血、骨髄の観察・・・形態と疾患（形態異常）	今村　文章
第13講　白血病・・・・・・急性白血病（FAB分類・WHO分類）慢性白血病と特殊白血病	今村　文章
第14講　国試過去問解説	今村　文章
第15講　国試過去問解説	今村　文章
第16講　国試過去問解説	今村　文章
第17講　国試過去問解説	今村　文章
第18講　国試過去問解説	今村　文章
第19講　予備	今村　文章

区分	臨床・専門分野	授業科目名	特殊分析検査学	単位数	1単位
対象学年	3年次	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	加藤　晶子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	病院勤務にて輸血検査・病理検査を担当。

授業の目的・目標	成績評価の方法
国家試験合格に向けての講義	出席状況・校内模擬試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
国家試験の解説、それに付随する箇所の説明。	臨床化学検査学/医歯薬出版、国家試験問題集/日本臨床検査学教育協議会

授業計画	講師
第1回　臨床化学検査学復習①	加藤　晶子
第2回　臨床化学検査学復習②	加藤　晶子
第3回　臨床化学検査学復習③	加藤　晶子
第4回　国家試験対策問題①グルコース	加藤　晶子
第5回　国家試験対策問題②脂質代謝	加藤　晶子
第6回　国家試験対策問題③アミノ酸	加藤　晶子
第7回　国家試験対策問題④核酸	加藤　晶子
第8回　国家試験対策問題⑤核酸代謝	加藤　晶子
第9回　国家試験対策問題⑥酵素	加藤　晶子
第10回　国家試験対策問題⑦ホルモン	加藤　晶子
第11回　国家試験対策問題⑧酸・塩基平衡	加藤　晶子
第12回　国家試験対策問題⑨腎機能	加藤　晶子
第13回　国家試験対策問題⑩金属	加藤　晶子
第14回　国家試験対策　まとめ	加藤　晶子
第15回　国家試験対策　まとめ	加藤　晶子

区分	臨床・専門分野	授業科目名	臨床生理検査学 ④	単位数	1
対象学年	3年生	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	城 宏史	実務経験	(有)無	実務経験内容	30年以上の臨床検査技師としての経験と心電図検査、呼吸機能検査、脳波検査、超音波検査の経験

授業の目的・目標

【前期】臨地実習の対する心構えと覚悟を自覚する
　　実習に対する動機、意欲、達成目標の明確化
【後期】国家試験問題を解いて理解を深める
心電図・呼吸機能と臨床の知識と理解を深める。

成績評価の方法

国家試験問題を解く
卒業認定試験や外部模試試験

授業の概要・授業方針

【前期】・臨地実習のガイドライン2013
　　・実習生の心構えとマナー　・実習の注意事項
【後期】 心電図・呼吸器とその他の国試問題を解く

ソーシャルワーク実習ガイダンス資料

・心電図の読み方 パーフェクトマニュアル
・呼吸機能検査/日本臨床衛生検査技師会
・過去の国家試験問題
・生理機能検査学 赤本

授業計画	講師
【前期】	
第1回　レポートの書き方と臨地実習の心得	城　宏史
第2回　実習生のマナーと注意事項	城　宏史
第3回　生理検査室の説明と国試問題の解き方	城　宏史
【後期】	
第1回　心電図の基礎と国家試験問題解説と考え方	城　宏史
第2回　第4回校内模試（生理）説明	城　宏史
第3回　国家試験問題説明（心電図）	城　宏史
第4回　国家試験問題説明（呼吸機能）	城　宏史
第5回　国家試験問題説明（酸塩基と血液ガス）	城　宏史
第6回　呼吸器の国家試験問題解説	城　宏史
第7回　国家試験問題複合問題	城　宏史
第8回　国家試験問題解説	城　宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	画像検査学	単位数	1
対象学年	3年生	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	城　宏史	実務経験	(有)・無	実務経験内容	30年以上の臨床検査技師としての経験と心電図検査、呼吸機能検査、脳波検査、超音波検査の経験

授業の目的・目標

【前期】臨地実習の対する心構えと覚悟を自覚する
　　実習に対する動機、意欲、達成目標の明確化
【後期】国家試験問題を解いて理解を深める
心電図・超音波の基礎と臨床の知識と理解を深める。

成績評価の方法

国家試験問題を解く
卒業認定試験や外部模試試験

授業の概要・授業方針

【前期】・臨地実習のガイドライン2013
　　・実習生の心構えとマナー　　・実習の注意事項
【後期】 心電図・超音波の国試問題を解く

ソーシャルワーク実習ガイダンス資料

超音波基礎技術テキスト
心臓超音波テキスト　腹部著音波テキスト
超音波検査技術教本/日本臨床衛生検査技師会

授業計画	講師
【前期】	
第1回　オスキーの内容の説明	城　宏史
第2回　オスキーの実際	城　宏史
第3回　実習生のマナーと注意事項	城　宏史
第4回　各超音波検査画像の資料説明（心エコー、腹部エコーアーチファクト等）	城　宏史
第5回　国家試験問題の解き方・考え方	城　宏史
【後期】	
第1回　国家試験問題　心電図基礎	城　宏史
第2回　国家試験問題　超音波基礎	城　宏史
第3回　国家試験問題　超音波腹部	城　宏史
第4回　国家試験問題　超音波心臓	城　宏史
第5回　国家試験問題　超音波体表・婦人科・頸動脈	城　宏史
第6回　国家試験問題　心電図	城　宏史
第7回　国家試験問題　超音波	城　宏史
第8回　国家試験問題　心電図	城　宏史
第9回　国家試験問題　超音波	城　宏史
第10回国家試験問題　心電図	城　宏史
第11回国家試験問題　超音波	城　宏史
第12回国家試験問題　心電図	城　宏史
第13回国家試験問題　超音波	城　宏史
第14回国家試験問題　心電図	城　宏史
第15回国家試験問題　超音波	城　宏史
第16回国家試験問題　心電図	城　宏史
第17回国家試験問題　まとめ	城　宏史
第18回国家試験問題　まとめ	城　宏史
第19回国家試験問題　まとめ	城　宏史

区分	臨床・専門分野	授業科目名	検査管理総論（臨床検査総論）	単位数	1
対象学年	3年生	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	坂口　みどり	実務経験	(有)・無	実務経験内容	検査センター勤務後、学校職員

授業の目的・目標	成績評価の方法
国家試験対策と尿沈渣判読	単位認定試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
板書を中心に国家試験問題にも取り組む。 受身にならないようディスカッションも取り入れ、興味を持てる授業展開としたい。	医歯薬出版　最新　臨床検査学講座「一般検査学」

授業計画	講師
第 1回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 2回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 3回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 4回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 5回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 6回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 7回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 8回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第 9回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第10回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第11回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第12回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第13回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第14回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり
第15回　新ファーストトレーニング＋尿沈渣スライド	坂口　みどり

区分	臨床・専門分野	授業科目名	検査管理総論		単位数	1単位
対象学年	3年次	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	(講義) 実習
担当教員名	諸隈　博	実務経験	(有) 無	実務経験内容	検体検査から生理検査までの全体的な経験があり、また技師長職としての検査管理業務の経験を有する。	

授業の目的・目標

①検査機器総論を理解する。 ②検査管理総論を理解する。 ③国家試験合格を目指す。

成績評価の方法

・出欠状況　・単位認定試験　・卒業認定試験

授業の概要・授業方針

①検査機器総論の復習。 ②検査管理総論の復習。 ③国家試験形式の問題で実践力を養う。

テキスト・参考資料等

・最新臨床検査学講座　検査機器総論/医歯薬出版
・最新臨床検査学講座　検査総合管理学
・講師作成資料など

授業計画	講師
第1回　国試対策　機器総論①（化学容量器、秤量装置）、問題	諸隈　博
第2回　国試対策　管理総論①　6章　検査の完全管理と倫理	諸隈　博
第3回　国試対策　機器総論②（遠心分離装置、分離分析装置）、問題	諸隈　博
第4回　国試対策　管理総論②（第1～3章）、問題	諸隈　博
第5回　国試対策　機器総論③（滅菌装置）、問題	諸隈　博
第6回　国試対策　管理総論③（第4章）、問題	諸隈　博
第7回　国試対策　機器総論④（測光装置）、問題	諸隈　博
第8回　国試対策　管理総論④（第4章）、問題	諸隈　博
第9回　国試対策　機器総論⑤（顕微鏡装置）、問題	諸隈　博
第10回　国試対策　管理総論⑤（第5章）、問題	諸隈　博
第11回　国試対策　機器総論⑥（電気化学装置、純水装置、遺伝子検査機器）、問題	諸隈　博
第12回　国試対策　管理総論⑥（第5章）、問題	諸隈　博

区分	臨床・専門分野	授業科目名	検査技術学演習（微生物検査学）	単位数	1単位
対象学年	3年次	開講時期	前期 ・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義 ・ 実習
担当教員名	福田　肇	実務経験	有・無	実務経験内容	平成8年～平成31年：微生物検査従事

授業の目的・目標	成績評価の方法
前期：臨地実習に向けた1・2年生の講義復習 後期：臨地実習を踏まえさらなる知識の習得と国家試験へ向けての知識向上。	単位認定試験、卒業認定試験、講義毎の小テスト・出席点
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
前期：教科書などを中心に講義 後期：1・2年次の復習と国家試験過去出題項目を参考に、小テストを行い、国家試験対策を行う。	最新臨床検査学口座　臨床微生物学；医歯薬出版 微生物検査ナビ第2班；栄研化学株式会社

授業計画	講師
前期	
第一回　国家試験への取り組み	福田　肇
第二回　臨地実習前の注意事項・感染対策	福田　肇
後期	
第一回　微生物総論　形態、構造と染色法	福田　肇
第二回　培養・培地	福田　肇
第三回　国試対策模試　解説	福田　肇
第四回　滅菌・消毒	福田　肇
第五回　薬剤感受性試験	福田　肇
第六回　国試対策模試　解説	福田　肇
第七回　薬剤感受性試験と耐性菌	福田　肇
第八回　グラム陽性球菌・グラム陰性球菌	福田　肇
第九回　グラム陽性桿菌	福田　肇
第十回　国試対策模試　解説	福田　肇
第十一回　グラム陰性桿菌（腸内細菌）	福田　肇
第十二回　グラム陰性桿菌（非発酵菌）	福田　肇
第十三回　国試対策　第1回卒業認定試験・模試　解説	福田　肇
第十四回　偏性嫌気性菌真菌・原虫類	福田　肇
第十五回　マイコプラズマ・リケッチア・クラミジア類	福田　肇
第十六回　感染と予防（施設内感染予防））と関連法	福田　肇
第十七回　国試対策　第2回卒業認定試験・模試　解説	福田　肇
第十八回　国試対策　模試　解説	福田　肇
第十九回　国試対策　第3回卒業認定試験・模試　解説	福田　肇

区分	臨床・その他	授業科目名	就職対策	単位数	
対象学年	3年生	開講時期	**前期**・ 後期 ・ 通年	講義形態	**講義**・ 実習
担当教員名	西村 史 他	実務経験	**有**・無	実務経験内容	大学、専門学校での経理、教務事務経験あり。

授業の目的・目標

早期の就職内定を目標とする。

成績評価の方法

授業の概要・授業方針

実際の就職試験を想定し、模擬面接を行う。

テキスト・参考資料等

適宜プリント配布

授業計画	講師
第 1 回 集団面接	西村・坂口
第 2 回 集団面接	西村・坂口

区分	医療秘書科	授業科目名	医療事務	時間数	132
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	萬谷　咲枝 西田　聖子	実務経験	(有)無	実務経験内容	・医療機関での診療報酬業務(医業収益関連) ・保険審査・査定・返戻対策に関する業務 ・外来・入院、請求・点検業務 ・医事システム関連業務

授業の目的・目標
・診療報酬請求事務能力試験対策
・医療保険制度の理解
・レセプト作成
・医療事務技能審査試験(メディカルクラーク)対策

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・確認小テスト
・定期試験

授業の概要・授業方針
受付からレセプト先性業務まで、医療事務の基礎を学ぶ。
診療報酬請求事務能力の取得を目指す。
医療事務技能審査試験(メディカルクラーク)の取得を目指す。

テキスト・参考資料等
・医療事務講座1～4・スタディブック
・各検定受験対策・問題集
・診療点数早見表
・資料配布

授業計画	講師
≪前期≫	
1.授業の進め方・教科書(テキスト)の使い方・診療点数表早見表について	萬谷
2.医療機関と医療事務	西田
3.診療報酬請求事務能力・メディカルクラーク試験について	萬谷
4.初診料	萬谷
5.再診料	萬谷
6.医療保険制度:医療保険とは	西田
7.外来診療料	萬谷
8.医療保険制度:保険料と保険給付	西田
9.医学管理料	萬谷
10.在宅医療	萬谷
11.復習テスト・解説	萬谷
12.初診料～投薬　レセプト作成	萬谷
13.医療保険制度:療養の給付について	西田
14.注射	萬谷
15.医療保険制度:医療保険の種類	西田
16.医療保険制度:被保険者証について①	西田
17.注射	萬谷
18.初診料～注射　レセプト作成	萬谷
19..20.処置	萬谷
21.処置	萬谷
22.復習テスト・解説	萬谷
23.初診料～処置　レセプト作成	萬谷
24.25.26手術・麻酔	萬谷
27.復習テスト・解説	萬谷
28.29初診料～手術・麻酔　レセプト作成	萬谷
30.医療保険制度:被保険者証について②	西田
31.32.33検査(検体検査)	萬谷
34.検査(生体検査)	萬谷
35.病理診断	萬谷

36復習(5)テスト・解説	萬谷
37.38初診料～検査　レセプト作成	萬谷
39.医療保険制度確認小テスト	西田
40.41画像診断	萬谷
42.後期高齢者医療制度	西田
43復習テスト・解説	萬谷
44.45初診料～画像診断　レセプト作成	萬谷
46.その他の制度：公費負担医療制度（生活保護法・感染症法）	西田
47.リハビリ・精神科・放射線	萬谷
48.復習テスト・解説	萬谷
49.50.51.入院	萬谷
52.試験対策問題1（診療報酬請求事務能力試験）	萬谷
53.試験対策問題2（診療報酬請求事務能力試験）	萬谷
54.その他の制度：介護保険制度	西田
55.試験対策問題3（診療報酬請求事務能力試験）	萬谷
56.試験対策問題4（診療報酬請求事務能力試験）	萬谷
57.高齢者医療制度・その他の制度確認小テスト	西田
58.試験対策問題5（診療報酬請求事務能力試験）	萬谷
59.試験対策問題6（診療報酬請求事務能力試験）	萬谷
60試験対策問題7（診療報酬請求事務能力試験）	萬谷
61.模擬テスト①	西田
62..試験対策問題1（医療事務技能審査試験	萬谷

区分	医療秘書科	授業科目名	医療実務	時間数	50
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	萬谷　咲枝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・総合窓口、会計、診療報酬請求事務等業務 ・審査支払機関との対外的業務 ・行政機関との公費取り扱い業務

授業の目的・目標
・医療保険制度の理解
・病院組織等の理解
・医療秘書検定対応

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・定期試験

授業の概要・授業方針
医療機関内の組織を理解する。関係機関の書類作成ややり取りを理解する。医療秘書検定試験の対策を行う。

テキスト・参考資料等
・「医療秘書」「医療概論」
・「医療事務に必要な医学用語辞典」
・資料配布

授業計画	講師
≪前期≫	
1.　日本の医療	萬谷　咲枝
2.　医療界の現状	萬谷　咲枝
3.　今後の展望	萬谷　咲枝
4.　欧米の医療秘書	萬谷　咲枝
5.　日本の医療秘書	萬谷　咲枝
6.　医療秘書の役割	萬谷　咲枝
7.　医療機関が求める人材	萬谷　咲枝
8.　患者受付業務	萬谷　咲枝
9.　医療とICT	萬谷　咲枝
10.　復習	萬谷　咲枝
11.　中間テスト	萬谷　咲枝
12.　医療秘書が把握すべきもの	萬谷　咲枝
13.　プライマリケア・DPC・ターミナルケア	萬谷　咲枝
14.　医療法と医療提供施設	萬谷　咲枝
15.　16.　17.　医療提供施設の定義と分類	萬谷　咲枝
18.　医療関係者と法律	萬谷　咲枝
19.　日本の医療保険の成り立ち	萬谷　咲枝
20.　保険診療と診療報酬制度	萬谷　咲枝
21.　公費負担医療制度	萬谷　咲枝
22.　自由診療・混合診療・保険外併用療養	萬谷　咲枝
23.　国民医療費・介護保険・後期高齢者医療制度	萬谷　咲枝
24.　資料整理	萬谷　咲枝
25.　資料整理・総復讐	萬谷　咲枝

区分	医療秘書科	授業科目名	医療知識	時間数	90
対象学年	1年	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	松田　一之	実務経験	(有)・無	実務経験内容	1982年～2015年　長崎みなとメディカルセンターにて病理検査、免疫・輸血検査、微生物検査、一般検査および生理検査全般を担当。その後、2015年～2021年　長崎みなとメディカルセンター　医事課長、事務部長を歴任。

授業の目的・目標

現場で求められる最低限の基礎的・基本的な医学知識の習得と、医療秘書検定3級・2級合格。

成績評価の方法

講義・実習時の態度、提出物評価、定期試験にて評価。

授業の概要・授業方針

①担当講師による講義と、グループワークを通して理解を深め、医療人としての常識的な会話ができるよう努力する。

②医療秘書検定3級・2級に沿った内容による対策。

テキスト・参考資料等

基礎医学（医療秘書教育全国協議会）

授業計画	講師
①医療知識分野について	松田　一之
②総論	松田　一之
③神経系	松田　一之
④感覚器系（眼、耳）	松田　一之
⑤循環器系（心臓、血管、リンパ）	松田　一之
⑥血液系（血液検査プチ実習含む）	松田　一之
⑦骨格系	松田　一之
⑧筋系	松田　一之
⑨腎・泌尿器系	松田　一之
⑩内分泌系	松田　一之
⑪免疫系	松田　一之
⑫呼吸器系（呼吸機能検査プチ実習含む）	松田　一之
⑬消化器系	松田　一之
⑭生殖器系	松田　一之
⑮感染症	松田　一之
⑯栄養	松田　一之
⑰病理学検査	松田　一之
⑱各分野別総復習	松田　一之
⑲中間試験対策	松田　一之
⑳期末試験対策	松田　一之
計 45コマ	

区分	医療秘書科	授業科目名	患者接遇	時間数	20
対象学年	1年	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	萬谷　咲枝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・医療機関等での窓口対応

授業の目的・目標
・応対の基本
・言葉遣いの基本
・メディカルクラーク・実技Ⅰ検定対応

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・定期試験

授業の概要・授業方針
患者接遇の基本を学び、就業に向けて社会人としてのマナーを身に着ける。

テキスト・参考資料等
・医療事務講座2「医療現場における接遇」
・医療事務技能審査試験受験対策
・資料配布

授業計画	講師
1　患者接遇の基本	萬谷　咲枝
2　コミュニケーションの取り方	萬谷　咲枝
3　受験対策	萬谷　咲枝
4　受験対策	萬谷　咲枝
5　受験対策	萬谷　咲枝
6　受験対策	萬谷　咲枝
7　受験対策	萬谷　咲枝
8　受験対策	萬谷　咲枝
9　受験対策	萬谷　咲枝
10　受験対策	萬谷　咲枝

区分	医療秘書科	授業科目名	接遇実習	時間数	20
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	萬谷　咲枝　他	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・医療機関等での窓口対応

授業の目的・目標	成績評価の方法
・　受付での基本対応	・出席状況 ・授業態度 ・定期試験
授業の概要・授業方針 　様々な設定でのロールプレーイングを行い、現場での対応に近づけていく。	**テキスト・参考資料等**

授業計画	講師
≪前期≫	
1 車椅子	城　宏史
2　学校茶道	西田　聖子
3　学校茶道	西田　聖子
4　学校茶道	西田　聖子
5、6　テーブルマナー	萬谷　咲枝
7　アロマテラピー	長井　ありさ
8　職場のコミュニケーション：人間関係・日常の健康管理	永田　あかね

区分	医療秘書科	授業科目名	秘書理論	時間数	28
対象学年	1年	開講時期	(前期)・後期・通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	永田　あかね	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・医療機関等での新入職員研修 ・医療機関等での組織内外ホスピタリティ研修 ・看護学校高等課程でのコミュニケーション授業 ・大学でのキャリアプランニング授業　等

授業の目的・目標	成績評価の方法
・組織の一員として働くために高校生マインドから社会人へ意識改革を行う。・様々な設定でのワークやロールプレイングを行い、現場での対応に近づけていく。対人、電話対応に苦手意識を持たないよう練習を行う。	・出席状況 ・授業態度 ・定期試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
患者接遇の基本を学び、就業に向けて社会人としてのマナーを身に着ける。自身の成長を確認しながら卒業後のキャリア形成を意識する。	・医療事務講座「医療現場における接遇」 ・配付資料

授業計画	講師
1. 患者接遇の基本：患者・家族の心理	永田　あかね
2. 望まれる医事担当者：患者接遇の場所	永田　あかね
3. 応対の基本：マナーの基本≪身だしなみ・姿勢・表情・声・お辞儀≫	永田　あかね
4. 応対の基本：マナーの基本≪挨拶・お伺い・ご案内≫	永田　あかね
5. 応対の基本：マナーの基本≪言葉遣い≫	永田　あかね
6. 好感を持たれる態度：受付での言葉がけ・気遣い	永田　あかね
7. 好感を持たれる態度：クッション言葉・代案・物の受け渡し	永田　あかね
8. 電話応対の基本：電話の受け方	永田　あかね
9. 電話応対の基本：書類作成依頼・電話のかけ方	永田　あかね
10. 患者受付の対応：窓口対応≪受付窓口①≫	永田　あかね
11. 患者受付の対応：窓口対応≪会計窓口≫	永田　あかね
12. 患者受付の対応：窓口対応≪受付窓口②≫	永田　あかね
13. 患者受付の対応：窓口対応≪クレーム対応≫	永田　あかね
14. 医療人として守るべきこと：守秘義務・個人情報保護	永田　あかね

区分	医療秘書科	授業科目名	Excel実習	時間数	40
対象学年	1年	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	下釜　綾子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	医療機関での事務経験、一般企業での実務経験の他、企業研修・公共職業訓練校・大学等で、Microsoft Office講座の講師を務めた。

授業の目的・目標

Excelの基本的な機能である、表の作成や数式の入力・グラフ・データベースなどの操作などを学習する。
さらに効率的な関数の活用や視覚的効果のある書類作成を行い、実務で活用できる知識と技能を習得する。

成績評価の方法

受講中の操作状況、成果物の完成度などで習得度を確認し、評価を行う。

授業の概要・授業方針

テキストと課題を使用し、基本的な操作から、実務に即した処理や作成方法のポイントを解説し、授業を進行する。

テキスト・参考資料等

よくわかるExcel2019基礎（FOM出版）
よくわかるExcel2019ドリル（FOM出版）

授業計画	講師
Excelの基本	下釜　綾子
データーの入力	下釜　綾子
表の作成	下釜　綾子
数式の入力	下釜　綾子
複数シートの操作	下釜　綾子
表の印刷	下釜　綾子
グラフの作成	下釜　綾子
データーベースの利用	下釜　綾子
便利な機能	下釜　綾子
ビジネス文書総合演習	下釜　綾子
Excelの新機能	下釜　綾子

区分	医療秘書科	授業科目名	手話		時間数	20
対象学年	1年	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	小淵みどり	実務経験	(有)・無	実務経験内容	長崎市手話講習会において講師を務める。	

授業の目的・目標
＊ 学習を通して聴覚障害者への理解を深める。
＊ 聴覚障害者とコミュニケーションができるよう技能習得を目指す。
＊ 全国手話検定試験5級合格を目指す。

成績評価の方法
授業態度と定期試験を総合的に評価

授業の概要・授業方針
講義・・・聴覚障害者への理解を深める。
実技・・・「あいさつ」や「自己紹介」などを復習しながら学習する。

テキスト・参考資料等
「聴さんと学ぼう」

授業計画			講師
	講義	実技	
第1回	挨拶　オリエンテーション	「あいさつ」	通常講師
第2回	「聞こえない」とは　？	「名前」	〃
第3回	コミュニケーション方法	「数字」	〃
第4回	手話のなりたち	「家族」	〃
第5回	耳の役割と聞こえの仕組み	「住所」	〃
第6回	聴覚障害者の生活（家庭・地域）	「生活」	〃
第7回	聴覚障害者の生活（職場・病院）	「趣味」	〃
第8回	聴覚障害者　講義		通常講師・ろう講師1名
第9回	聴覚障害者の生活（盲ろう者）	「場所・乗り物」	通常講師
第10回	～前期講座の復習～		〃

区分	医療秘書科	授業科目名	検定対策	時間数	10
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・ (通年)	講義形態	(講義)・ 実習
担当教員名	岩永　大樹 萬谷　咲枝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・医療事務講座での検定試験対策指導

授業の目的・目標
・各検定試験取得の準備

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・検定試験結果

授業の概要・授業方針
各検定試験取得のために復習を行う。

テキスト・参考資料等
・資料配布
・確認・練習問題配布

授業計画	講師
≪前期≫	
1.　各検定試験内容の説明	萬谷　咲枝
（診療報酬請求事務能力、メディカルクラーク、医療秘書技能検定等）	
2.3 診療報酬請求事務能力試験に向けての対策	岩永　大樹
4 5 ORCA　病院実習前　事前講習	岩永　大樹

区分	医療秘書科	授業科目名	就職実務	時間数	20
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	西村　　史 萬谷　咲枝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・大学、専門学校での経理、教務事務、就職指導経験あり。

授業の目的・目標
・医療事務職の理解
・自己分析と自己理解
・社会人としての基礎知識とマナー

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・文書作成

授業の概要・授業方針
社会人としての基本マナーを身につける。就業に向けて応募書類作成の充実を図り、模擬面接などを行う。

テキスト・参考資料等
・資料配布

授業計画	講師
≪前期≫	
1　就職活動スケジュール　オリエンテーション（就職活動の進め方）	西村または萬谷
2　社会人基礎力	西村または萬谷
3　自己分析・PR作成　　作文「私のセールスポイント」	西村または萬谷
4　自己紹介書作成	西村または萬谷
5　自己紹介書作成　　履歴書作成	西村または萬谷
6　履歴書作成	西村または萬谷
7　面接事項	西村または萬谷
8　面接練習	西村または萬谷
9　模擬面接（ハローワーク）	西村または萬谷
10　模擬面接（ハローワーク）	西村または萬谷

区分	医療秘書科	授業科目名	病院実習オリエンテーション	時間数	10
対象学年	1年	開講時期	(前期)・ 後期 ・ 通年	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	萬谷　咲枝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・医療機関での実習受入対応

授業の目的・目標
・病院実習の充実

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度

授業の概要・授業方針
　病院実習における基礎的なマナーを身につける。職員や患者とのコミュニケーションを図り、就業に向けての意識を高める。

テキスト・参考資料等
・資料配布

授業計画	講師
1.　病院実習について	萬谷　咲枝
2.　病院実習　提出用　学生票作成	萬谷　咲枝
3.　学生票作成	萬谷　咲枝
4.　実習先への電話連絡の仕方・練習	萬谷　咲枝
5.　実習ノートの書き方　行く前の注意事項等　お礼状について	萬谷　咲枝

区分	医療秘書科	授業科目名	医療事務	時間数	100
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	萬谷　咲枝	実務経験	(有)無	実務経験内容	・医療機関での診療報酬業務（医業収益関連） ・保険審査・査定・返戻対策に関する業務 ・外来・入院、請求・点検業務 ・医事システム関連業務

授業の目的・目標
・医療保険制度の理解
・レセプト作成
・メディカルクラーク検定試験対策

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・確認小テスト
・定期試験

授業の概要・授業方針
医科は正確な外来・入院レセプトを作成する。

テキスト・参考資料等
・医療事務講座1～4・スタディブック
・診療点数早見表
・資料配布

授業計画	講師
≪後期≫	萬谷
1.復習1（初診・再診）	萬谷
2.復習2（医学管理・在宅）	萬谷
3.復習3（投薬・注射）	萬谷
4.復習4（処置）	萬谷
5.復習5（検査・病理診断）	萬谷
6.復習6（手術・麻酔・輸血）	萬谷
7.復習7（画像診断）	萬谷
8.復習8（レハビリ・精神科・放射線）	萬谷
9.復習9（入院）	萬谷
10.外来学科問題	萬谷
11.外来学科問題	萬谷
12.外来学科問題	萬谷
13.外来レセプト作成	萬谷
14.外来レセプト作成	萬谷
15.外来レセプト作成	萬谷
16.学科問題	萬谷
17.入院学科問題	萬谷
18.入院学科問題	萬谷
19.入院レセプト作成	萬谷
20.入院レセプト作成	萬谷
21.入院レセプト作成	萬谷
22.試験対策問題1(メディカルクラーク)	萬谷
23.試験対策問題2(メディカルクラーク)	萬谷
24.試験対策問題3(メディカルクラーク)	萬谷
25.試験対策問題4(メディカルクラーク)	萬谷
26.試験対策問題5(メディカルクラーク)	萬谷
27.試験対策問題6(メディカルクラーク)	萬谷
28.試験対策問題7(メディカルクラーク)	萬谷
29.試験対策問題8(メディカルクラーク)	萬谷

30.試験対策問題9(メディカルクラーク)	萬谷
31.試験対策問題10(メディカルクラーク)	萬谷
32.医療秘書検定・模擬テスト1（3級）	萬谷
33.医療秘書検定・模擬テスト2（3級）	萬谷
34.医療秘書検定・模擬テスト3（3級）	萬谷
35.医療秘書検定・模擬テスト4（3級）	萬谷
36.医療秘書検定・模擬テスト5（3級）	萬谷
37.医療秘書検定・模擬テスト6（3級）	萬谷
38.医療秘書検定・模擬テスト7（3級）	萬谷
39.医療秘書検定・模擬テスト1（2級）	萬谷
40.医療秘書検定・模擬テスト2（2級）	萬谷
41.医療秘書検定・模擬テスト3（2級）	萬谷
42.医療秘書検定・模擬テスト4（2級）	萬谷
43.医療秘書検定・模擬テスト5（2級）	萬谷
44.医療秘書検定・模擬テスト7（2級）	萬谷
45.医療秘書検定・模擬テスト8（2級）	萬谷
46.（復習1）医療秘書検定対策	萬谷

区分	医療秘書科	授業科目名	医療実務		時間数	40
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	萬谷　咲枝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・審査支払機関との対外的業務 ・行政機関との公費取り扱い業務	

授業の目的・目標	成績評価の方法
・医療保険制度の理解 ・病院組織等の理解 ・医療秘書検定対応	・出席状況 ・授業態度 ・定期試験
授業の概要・授業方針	**テキスト・参考資料等**
医療機関内の組織を理解する。関係機関の書類作成ややり取りを理解する。医療秘書検定試験の対策を行う。	・「医療秘書」「医療概論」 ・「医療事務に必要な医学用語辞典」 ・資料配布

授業計画	講師
≪後期≫	
1. 復習1(医療秘書が把握すべきもの)	萬谷　咲枝
2. 復習2(医療の実際)	萬谷　咲枝
3. 復習3(医療法と医療提供施設)	萬谷　咲枝
4. 復習4(医療保険制度)	萬谷　咲枝
5. 復習5(保険診療と自由診療・公費)	萬谷　咲枝
6. 中間テスト	萬谷　咲枝
7. 医療秘書検定試験対策問題1(3級)	萬谷　咲枝
8. 医療秘書検定試験対策問題2(3級)	萬谷　咲枝
9. 医療秘書検定試験対策問題3(3級)	萬谷　咲枝
10. 医療秘書検定試験対策問題4(2級)	萬谷　咲枝
11. 医療秘書検定試験対策問題5(2級)	萬谷　咲枝
12. 医療秘書検定試験対策問題6(2級)	萬谷　咲枝
13. 模擬テスト1(3級)	萬谷　咲枝
14. 模擬テスト2(2級)	萬谷　咲枝
15. 模擬テスト3(3級)	萬谷　咲枝
16. 模擬テスト4(2級)	萬谷　咲枝
17. 模擬テスト5(3級)	萬谷　咲枝
18. 模擬テスト6(2級)	萬谷　咲枝
19. 模擬テスト7(3級)	萬谷　咲枝
20. 模擬テスト8(2級)	萬谷　咲枝

区分	医療秘書科	授業科目名	医療知識	時間数	60
対象学年	1年	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	(講義) 実習
担当教員名	松田　一之	実務経験	(有)・無	実務経験内容	1982年～2015年　長崎みなとメディカルセンターにて病理検査、免疫・輸血検査、微生物検査、一般検査および生理検査全般を担当。その後、2015年～2021年　長崎みなとメディカルセンター　医事課長、事務部長を歴任。

授業の目的・目標

現場で求められる最低限の基礎的・基本的な医学知識の習得と、医療秘書検定3級・2級合格。

成績評価の方法

講義・実習時の態度、提出物評価、定期試験にて評価。

授業の概要・授業方針

①担当講師による講義と、グループワークを通して理解を深め、医療人としての常識的な会話ができるよう努力する。

②医療秘書検定3級・2級に沿った内容による対策。

テキスト・参考資料等

基礎医学（医療秘書教育全国協議会）

授業計画	講師
①前期復習（各章ごと）	松田　一之
②医療秘書検定3級・2級対策（練習問題）	松田　一之
③医療秘書検定3級・2級対策（解答・解説）	松田　一之
④期末試験対策	松田　一之
⑤プチ実習（尿検査）	松田　一之
⑥生理機能検査実習室見学	松田　一之
練習問題・解答解説が主。	
計 30 コマ	

区分	医療秘書科	授業科目名	接遇実習	時間数	14
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	講義・(実習)
担当教員名	萬谷　咲枝　他	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・ 医療機関等でのホスピタリティマナー講義

授業の目的・目標
・ 受付での基本対応
・ 電話での基本対応

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・定期試験

授業の概要・授業方針
様々な設定でのロールプレーイングを行い、現場での対応に近づけていく。特に電話対応に苦手意識を持たないように練習を行う。

テキスト・参考資料等
・医療事務講座「患者接遇マナー」
・資料配布

授業計画	講師
≪後期≫	
1 プレゼンテーション準備	下釜
2 プレゼンテーション準備	下釜
3 プレゼンテーション準備	下釜
4 カラーコーディネート	外勤講師
5 プレゼンテーション準備	下釜
6 プレゼンテーション準備	下釜
7 認知症	岩屋地域包括センター
8 プレゼンテーション発表	萬谷
9 フラワーアレンジメント	外勤講師

区分	医療秘書科	授業科目名	Word実習	時間数	30
対象学年	1年	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年	講義形態	講義 ・(実習)
担当教員名	下釜　綾子	実務経験	(有)・無	実務経験内容	医療機関での事務経験、一般企業での実務経験の他、企業研修・公共職業訓練校・大学等で、Microsoft Office講座の講師を務めた。

授業の目的・目標
基本的な文書作成やレイアウトの設定、図や表の挿入やグラフィックを使った文書作成の技法をWordを活用し作成する知識と技術を身に付ける。
また、文書校正などレポート作成などにも活用できる知識や文書作成のルール及び、プレゼンテーション技法も習得する。

成績評価の方法
受講中の操作状況、成果物の完成度などで習得度を確認し、評価を行う。

授業の概要・授業方針
テキストと課題を使用し、基本的な操作から、実務に即した処理や作成方法のポイントを解説し、授業を進行する。

テキスト・参考資料等
よくわかるWord2019（FOM出版）
よくわかるWord2019ドリル（FOM出版）

授業計画	講師
Wordの基礎知識	下釜　綾子
文字の入力	下釜　綾子
文書の作成	下釜　綾子
表の作成	下釜　綾子
文書の編集	下釜　綾子
表現力をアップする機能	下釜　綾子
便利な機能	下釜　綾子
ビジネス文書総合演習	下釜　綾子
Word2019の新機能	下釜　綾子
PowerPointの基礎操作	下釜　綾子
プレゼンテーションの構成	下釜　綾子
訴求力の高い発表資料の作成	下釜　綾子

区分	医療秘書科	授業科目名	手話		時間数	20
対象学年	1年	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	小淵みどり	実務経験	(有)・無	実務経験内容	長崎市手話講習会において講師を務める。	

授業の目的・目標

＊ 学習を通して聴覚障害者への理解を深める。
＊ 聴覚障害者とコミュニケーションができるよう技能習得を目指す。
＊ 全国手話検定試験5級合格を目指す。

成績評価の方法

授業態度と定期試験を総合的に評価

授業の概要・授業方針

講義・・・聴覚障害者への理解を深める。
実技・・・「あいさつ」や「自己紹介」などを復習しながら学習する。

テキスト・参考資料等

「聴さんと学ぼう」

授業計画		講師
講義	実技	
第11回　復習 （夏休みの思い出）	「災害・時間」	通常講師
第12回　ろうあ運動について	「仕事」	〃
第13回　病院受付での対応　（全国手話検定試験の説明）		〃
第14回　全国手話検定試験に向けて/面接練習・DVD		通常講師・ろう講師1名
第15回　グループワーク （交流会のあいさつを考える）		通常講師
第16回　コミュニケーション体験 （聴覚障害者との交流会）		通常講師・ろう講師2名
第17回　手話言語条例・合理的配慮	「コミュニケーション」	通常講師
第18回　手話サークルの始まり・地域の手話サークル	「季節・天候」	〃
第19回　病院受付での対応	「病気」	〃
第20回　～後期講座の復習～		〃
第21回　テスト		〃

区分	医療秘書科	授業科目名	検定対策		時間数	50
対象学年	1年	開講時期	前期 ・(後期)・ 通年		講義形態	(講義)・実習
担当教員名	岩永　大樹	実務経験	(有)・無	実務経験内容	長崎県下にて医療機関への日レセORCA導入（100件）及び電子カルテ導入（30件）経験あり 資格：日医IT認定システム主任者、認定インストラクター	

授業の目的・目標

①医事レセプトコンピュータを用いて、医事会計の入力方法を習得
②「日医IT日レセ操作実務者」の認定試験合格を目指す
③電子カルテ3製品を用いて、医療事務の役割を学ぶ

成績評価の方法

授業態度（出席状況）

授業の概要・授業方針

日本医師会が提供する「日医標準レセプトソフトORCA」を用い、請求事務全般（日常業務から請求業務）を学びます。ORCAは長崎県内の医療機関450件以上で利用されている医事システムです。
代表的なカルテ事例を用いて講義を進め、日本医師会の認定オペレータ資格を取得します。

テキスト・参考資料等

レセプト点検攻略ドリル（医療事務　医科）
日医標準レセプトソフト〔外来版〕基本操作説明書

授業計画	講師
（1）　日医標準レセプトソフト（日レセORCA）の概要説明、オンライン資格確認、診療報酬改定の動向	岩永　大樹
カルテ事例実習1・2	岩永　大樹
（2）　カルテ事例実習3・4・5	岩永　大樹
（3）　カルテ事例実習6・7．8	萬谷　咲枝
（4）　カルテ事例実習9．10	萬谷　咲枝
（5）　入力内容の訂正方法	萬谷　咲枝
（6）　検定対策1・2・3	萬谷　咲枝
（7）　検定対策4・5・6	萬谷　咲枝
（8）　検定対策7・8	萬谷　咲枝
（9）　検定対策9・10	萬谷　咲枝
（10）日医認定オペレータ試験前　事前講習	岩永　大樹
（11）電子カルテの概要説明、ORCA連動型電子カルテ、一体型電子カルテの紹介	岩永　大樹
（12）電子カルテの実習（EMシステムズ　Maps for Clinic）	岩永　大樹
（13）電子カルテの実習（エムスリーDigiKar）	岩永　大樹

区分	医療秘書科	授業科目名	就職実務	時間数	6
対象学年	1年	開講時期	前期 ・ 後期 ・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	西村　史 萬谷　咲枝	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・大学、専門学校での経理、教務事務、就職指導経験あり。

授業の目的・目標
・医療事務職の理解
・自己分析と自己理解
・社会人としての基礎知識とマナー

成績評価の方法
・出席状況
・授業態度
・文書作成

授業の概要・授業方針
社会人としての基本マナーを身につける。就業に向けて応募書類作成の充実を図り、模擬面接などを行う。

テキスト・参考資料等
・資料配布

授業計画	講師
≪後期≫	
1. 履歴書・自己紹介書作成	西村または萬谷
2. 社会人として① 求められる人材を目指す	西村または萬谷
3. 社会人として② 職場でのコミュニケーション	西村または萬谷
4. 面接練習	西村または萬谷